

亀山駅東自転車駐車場新築工事

T01	建築工事 特記仕様書（１）	07	断面図
T02	建築工事 特記仕様書（２）	08	サイクルポート（Ａ棟）一般図
T03	建築工事 特記仕様書（３）	09	サイクルポート（ＢＣ棟）一般図
T04	電気設備工事 特記仕様書	10	サイクルポート（Ｄ棟）一般図
01	計画概要・付近見取図	11	サイクルポート（Ｅ棟）一般図・部材一覧表・部材断面図
02	現況図	12	外構図・外構詳細図（１）
03	配置図兼平面図	13	外構詳細図（２）
04	求積図・求積表	14	照明器具平面図
05	平均地盤面算定図	15	防犯カメラ平面図
06	屋根伏図	16	仮設計画図

亀山市

工事特記仕様書		
I 工事名	亀山駅東自転車駐車場新築工事	
II 工事概要	1. 工事場所 三重県亀山市御幸町地内 2. 敷地面積 323.73m ² 3. 工事内容 構名称 亀山駅東駐輪場 構造 アルミ合金造 平屋建 建築面積 135.54m ² 延床面積 135.54m ² 工事項目 建築工事	
II 建築工事仕様	1. 標準仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。 2. 特記仕様書の表記 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。特記事項に記載される内容が複数ある事項については○印の付いたものを適用し、※印の付いたものは適用しない。 ○印と○印の付いた場合は、共に適用する。 使用材料等で、複数の材料に○印が付いたものは図面による。 (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	○建築工事標準詳細図（平成28年版） 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課 ○高層工事写真撮影要領（平成31年版） 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課 ○デジタル工事写真の小黑板情報電子化について（平成29年3月1日付付内閣府第211号） ・建築物解体工事共通仕様書（平成31年版） 国土交通省大臣官庁官庁営繕部 ・ ・
	② 工事実績情報の登録	(1.1.4) ○請負者は、受注時において工事請負代金額が、500万円の工事については、(財)日本建設情報総合センター（以下「JACIC」）が運営する工事実績情報サービス(CORINS)に、「CORINS入力システム」により当該工事に係るデータ登録を行わなければならない。データ登録は、受注時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえで、契約締結後10日以内にJACICに対し登録申請を行い、JACICから「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。 なお、工事請負代金額が2500万円以上の工事の場合は、受注時に加えて、変更及び完成時においても同様に「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえで、登録内容の変更時においては、変更契約締結後10日以内に、完成時においては、工事完成後10日以内にJACICに登録申請しなければならない。 なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。ただし、期間には土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する国民の祝日等は含まない。 ○請負者は、下請負に付する場合は、別に定める三重県建設工事執行規則施工に関し、必要な書類に様式を定める要綱に従い、部分下請通知書（第9号様式）を監督員に提出しなければならない。 ○請負者は、工事を施工するための下請負契約を締結した場合には下請代金にかかわらず、施工体制台帳を作成し、工事現場に備えとともに、その写しを監督員に提出しなければならない。 ○請負者は、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事現場の見やすい場所と公衆の見やすい場所に掲げなければならない。 また、請負者は、施工体系図を別に定める様式により監督員に提出しなければならない。
	3 電気保安技術者	(1.3.3) ※適用する
	④ 発生材の処理等	(1.3.11) ・引渡しを要するもの（ ） ・特別管理産業廃棄物 ※有（ ） 処理方法（ ） ・現場において再利用を図るもの（ ） ○再生資材の利用を図るもの ・アスファルトコンクリート塊 ○セメントコンクリート塊 ・建設発生木材 ・引渡しを要するもの、再生資源の利用を図るものについては調査作成し、監督員へ提出すること。 ○引渡しを要しないもの、再生資源化を図るもの以外のものは、全て工事現場外に搬出し、建設リサイクル法、資源有効利用促進法、廃棄物処理法その他関係法令に基づくほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。（マニフェスト A、B2、D票を提示し、E票を、写しを提出すること。）
	⑤ 環境への配慮	(1.4.1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しない又は放散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤は、可塑性（フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。

規制対象外	該当する材料	
	① JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS適合品 a. 接着剤等不使用 b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	① JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
第三種	① JIS及びJASのF☆☆☆☆品 ② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品	

(1.4.2)
 本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。
 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
 (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
 (3) 安定的な供給が可能であること
 (4) 法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること
 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
 (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること
 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（社）公共建築協会等）が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価書」の評価書等の写しを、監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

(1.5.2)
 品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。
 また、建設工事で得られた再生資源の活用はもちろんのこと、他産業の廃棄物で得られた再生資源についても利用促進を図るものとし、「みえ・グリーン購入基本方針」に基づく「環境物品等の調達に関する基本方針」に定める環境配慮を行うこと。（同指針に基づき、木材を使用する場合、原料として使用される原木は、県産間伐材、林地残材又は小径木等とするか、又はその伐採にあたって生産された園における森林に関する法令に照らして合法な木材とすること。）
 ※ 本工事に使用する木材は、原則として亀山市内の森林から産出された「地域材」を使用し、調達できない場合は県産材、国産材の順に利用するものとする。
 なお、県産材については「三重の木」利用促進協議会が承認する「三重の木」を優先して使用する。

(1.5.8)
 設計図書に定められた工法以外で所要の品質及び性能の確保が可能な工法並びに環境の保全に有効な工法の提案がある場合は、監督職員と協議する。

(1.5.9)
 ※ 測定物質(○で示したのとする。)

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
○	学校、教育施設	○	○	○	○	○	○
○	住宅	○	○	○	○	○	○
○	その他	○	○	○	○	○	○

※ 測定箇所（※ 図示 ）
 ※ 測定方法（※ バツプ法 ）
 ※ 試料は、内装工事完了から2週間以上の通風換気を行い、また、換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了してから採取することとし、困難な場合は監督職員と協議すること。
 ※ 報告書提出部数 2部

(1.6.2)
 回数（ ）、実施する段階（ ）
 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
 ※ 本工事は三重県リサイクル製品利用推進条例に基づき性能、品質、数量、価格等に考慮し、優先的に認定製品を使用すること。入手困難な場合は監督職員と協議すること。

※ 接着剤及び塗料の塗布にあたっては、使用方法及び塗布料を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。また、施工時、施工後の通風、換気を十分にに行い、室内に放散した等を室外へ放出させること。
 ※ 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械を使用する。
 ※ 第3次排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。
 ※ 電子納品とし、次のものを提出する。
 ※ CD 部数は「20 電子納品」を参照
 ※ 全写真のサムネイルを印刷したもの（M4版用紙）1部
 ※ 代表的写真を抽出し、L版相当サイズ（M4版用紙に1ページあたり3枚）で印刷したもの1部

(1.7.1)～(3)(表1.7.1)
 ※ 作成する（※ 完成図 ・ 保全に関する資料）
 ※ 完成図作成範囲（配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等）
 なお、完成図の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。
 ○ CADIによる作成、普通紙に出力したもの（※ 要 ・ 不要）
 ただし、作成できない場合は監督職員との協議による。

① 完成写真
 ※ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。（M4版用紙に1ページあたり3枚）
 ○ アルバム1部（大きさ 335mm×290mm程度 カラー）
 ※ 箇所数は 外観5面程度とする。
 規定の箇所数が確保できない場合には、監督職員と協議すること。

② 電子納品
 ※ 工事写真は、「當轄工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真編）」等に基づき電子媒体も提出すること。
 (提出部数 ※ 2部 ・ 部)
 ※ 工事完成図書は、「當轄工事に係る電子納品マニュアル（工事完成図書編）」に基づき電子媒体も提出すること。
 (提出部数 ※ 2部 ・ 部)

③ 設備工事との取合い
 施工範囲
 ※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
 ※ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
 ※ 駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図
 ※ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受けること。

④ 設計GL
 ※ 図示のベンチマーク (B.M) ○SKBM 2 H=50.048 (御幸7号線東端側溝天端)
 (現状地盤は B.M mm)

⑤ 養生その他
 工事施工に際し既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にない補修すること。

⑥ 事故報告
 工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書（三重県公共工事共通仕様書第13号様式）を監督員に速やかに提出すること。
 また、事故発生後の措置について監督職員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑦ 調査協力
 受注者は、発注者が行う生コンクリートに関する調査に協力すること。
 ※調査内容については、購入先、購入価格、資材の搬入と施工に条件に関すること等。詳細は監督職員と別途協議によるものとする。

⑧ 環境保全活動への協力
 ※ 職種別に可能なものについては積極的に活用すること。

⑨ 提出書類
 監督職員より別途指示するものとする。

⑩ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重
 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
 ○風圧力
 風速 (V=3.4 m/s)
 地表面粗度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
 ○積雪荷重等
 垂直積雪量：4.0m 積雪の単位荷重：2.0N/m²

2 仮設工事
 (2.2.4)
 ※ 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 平成21年4月策定）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び巾木の機能を有するものを設置しなければならない。
 また、定置する足場及び作業橋台の類は、別契約の関係請負者に無償で使用させる。

2 監督職員事務所
 (2.3.1)
 ※ 設置する監督職員事務所の規模 (単位：m²)

規模	※	・	・	・	・
面積	(10程度)	(20程度)	(35程度)	(65程度)	(100程度)

 監督職員事務所の仕上げ

部位等	仕 上 げ	
床	合板張り 又は ビニール床シート張り	
内壁、天井	合板 又は セッコボード張り、合成樹脂エマルジョン塗	
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗	

 備品等の設置

種類	机・いす	書棚	黒板	掛時計	温度計
数量	個	台	個	個	個
種類	長ぐつ	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除機	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	請負者加入電話機・FAX	冷暖房機器
数量	個	台	個	台	台

 ○横外搬出適切処理 ・ 構内指定場所に堆積 ・ 構内指定場所に散均し

3 監督職員事務所の備品等
 埋戻し及び盛土の種別
 ・ A種 適用場所 ()
 ・ B種 適用場所 ()
 ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 ()
 ・ D種 (細粒分 (75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。) 適用場所 ()

① 埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表3.2.1)
 (3.2.5)
 ○建設発生土の処理

3 山留めの撤去、存置 (3.3.3)
 鋼矢板等の抜き跡の処理 ・ 砂充填 ・ ()
 山留め壁等 ・ 撤去 ・ 存置 存置範囲(※図示 ・)

4 地業工事
 1 杭の施工管理
 杭工事特記仕様書による。
 2 適用基準
 本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。
 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」(平成28年3月4日)
 3 施工記録
 受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施行記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。
 たうで提出し、確認を受けること。
 また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。
 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。
 4 根拠資料
 共通仕様書、特記仕様書及びその他基準等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項（第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から10年とする。また、発注者から請求があった場合は、速やかに提出または提示すること。
 5 試験杭及び試験掘
 ・ 試験杭 位置、本数及び寸法 図示 (図面番号：)
 ・ 試験掘 位置、本数及び寸法 図示 (図面番号：)
 6 杭の支持層
 支持層の位置、土質 ・ 図示 (図面番号：) ・ ()
 7 水平方向の位置ずれ
 ()mm以下
 8 杭の載荷試験 (4.2.3)
 試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ ()
 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
 位置、本数 ・ 図示 (図面番号：) 載荷荷重 (kN)
 報告書 ・ 提出部数 2部
 9 地盤の載荷試験 (4.2.4)
 試験方法 ※ 平板載荷 ○ スウェーデン式サイディング試験
 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
 位置 ○ 図示 調査深度H=3m
 報告書 ○ 提出部数 2部
 10 既製コンクリート杭 (4.3.1)(表4.3.1)(4.3.3)(4.3.4)(4.3.5)(4.3.6)(4.3.8)
 ・ PHC杭
 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
 ・ SC杭
 ・ PRC杭
 ・ 上記以外の建築基準法に基づく杭
 (参考表)

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考

 先端形状 ・ 開放型 ・ 閉そく型
 施工方法
 ・ セメントミルク工法
 ・ オーガーの支持層への掘削深さ
 ・ ()m ・ 図示 (図面番号：)
 ・ 杭の支持層への根入れ深さ
 ・ ()m ・ 図示 (図面番号：)
 ・ 特定埋込杭工法
 ・ 杭の根入れ深さ
 ・ ()m ・ 図示 (図面番号：)
 ・ 掘削液及び杭周固定液の管理試験
 ・ 標準仕様書 [4.3.4(6)①] ・ ()
 継手 ・ アーク溶接 ・ 無溶接継手(工法：)
 杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない
 (4.4.3)(4.4.4)(4.4.5)(4.4.6)(4.3.5)(4.3.8)
 鋼管杭 ・ SKK400 ・ SKK490
 ・ H形鋼杭 ・ SHK400 ・ SHK490M
 径 ・ 300 ・ 350 ・ 400 ・ 450 ・ ()
 長さ ()m
 継手 ・ JISA5525(鋼管ぐい)
 施工方法
 ・ 特定埋込杭工法
 ・ 杭の根入れ深さ
 ・ ()m ・ 図示 (図面番号：)
 杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない
 (4.5.1)(4.5.4)(4.5.5)(4.5.6)

	備考	令和 3 年 6 月 15 日	SCALE：N / S	工事名称	図面名称
			亀山市産業建設部		
			都市整備課	亀山駅東自転車駐車場新築工事	建築工事特記仕様書(1)
			亀山駅前整備G		R 2 年版

TO1

4 地盤工事へ続き	13 地盤改良	孔壁の超音波測定 ・ 行う ・ 行わない 帯筋の加工及び組立 ・ 図示 (図面番号 :) 鉄筋の最小かぶり厚さ () mm 鉄筋かごの補強 ・ 図示 (図面番号 :) 継手 ・ 重ね継手 ・ () コンクリートの種類 ・ A種 ・ B種 設計基準強度 () N/mm ² セメントの種類 ・ 高炉セメントB種 ・ () スラブ (cm) ・ 18 ・ () 構造体強度補正值 (S) ・ 3N/mm ² ・ ()	② コンクリートの類別	類別 (6.2.1) (表6.2.1) ※ I 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ II 類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) ・ 大臣認定品 図示 (図面番号 :)	15 左官工事	1 ラス系下地 (15.2.4)	通気工法 ・ 二層下地 ・ 単層下地 直張り工法 ・ ラスモルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地 ラス及び補強用平ラス 素材による区分 種類 質量 (kg/m ²) ・ () ・ () ・ ()	10 しゃくい塗り (15.10.1)(15.10.2)(15.10.3)(表15.10.1)(表15.10.2)	下地 ・ 木ずり ・ こまい土壁塗り ・ せっこうラスボード ・ せっこうボード ・ () 材料 ・ 現場調査材料 標準仕様書[15.10.2](1)(7) ・ 既調合材料 標準仕様書[15.10.2](1)(4) しゃくい塗材の種類等 ・ ()	20 ユニット及びその他工事	11 こまい壁塗り (15.11.2)(15.11.3)(15.11.4)(15.11.5)(表15.11.2)(表15.11.8)(表15.11.9)	のり種類 土壁用 ・ ふのり ・ つのまた ・ ぎんなんそう ・ 粉末海藻 ・ () 砂壁用 ・ ふのり ・ つのまた ・ こんにやくのり ・ にかわ ・ 合成高分子系混和剤 ・ () 色土の種類 土物仕上げ ・ () 大津仕上げ ・ () 色砂の種類 ・ () 下塗りの調合 ・ 標準仕様書[表15.11.2] ・ () 塗厚 ・ 標準仕様書[表15.11.8] ・ () 耐力壁の指定 ・ 図示 (図面番号 :) 工程種別 ※A種 ・ B種 工法の種類 土物仕上げ ・ () (15.11.7)(15.11.8) 大津仕上げ ・ ()	12 ロックウール吹付け (15.12.3)	仕上げ吹付け厚さ () mm																																																																								
	14 砂及び砂利地盤 (4.6.2) (4.6.3)	砂利 ○再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 ・ () 砂 ・ シルト ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 ・ () 施工範囲 ○ 図示 (図面番号 :) 厚さ (mm) ・ 60 ○ 図示 ・ 仕上がリレベルを計測し、記録すること。	③ コンクリートの仕上り (6.2.5) (表6.2.4) (表6.2.5)	合板せき板を用いる場合の打直し仕上りの種類 ○ A種 (サイン壁みえがかり部分) ○ B種 (編壁) ・ C種 仕上りの平坦さ ・ a種 ○ b種 ・ c種		2 せっこうボード その他のボード下地 (15.2.5)	せっこうボード、せっこうラスボードの種類、厚さ ・ 図示 (図面番号 :) ・ () 木質系セメント板の種類、厚さ ・ 図示 (図面番号 :) ・ ()	11 6 章 建具工事～第 19 章 内装工事 削除	1 フリーアクセスフロア (20.2.2)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>所定荷重</th> <th>高さ (mm)</th> <th>床仕上材及び厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm</td> <td>・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ 耐震性能 ・ ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	所定荷重	高さ (mm)	床仕上材及び厚さ (mm)	備考				・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ 耐震性能 ・ ()				・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm		3 移動間仕切 (20.2.4)	<p>試験方法 20.2.2(2)(i)(a)～(d) 寸法精度 20.2.2(2)(a)～(c)</p> <p>組立て方式 ・ スタッド式 ・ パネル式 ・ スタッドパネル式 寸法及び形状 ・ 図示 (図面番号 :) 表面材の材質及び仕上げ ・ 図示 (図面番号 :) 遮音性 ・ 高遮音</p> <p>操作方法 ・ 手動式 ・ 電動式 表面材の材質及び仕上げ ・ 図示 (図面番号 :) 遮音性 ・ 高遮音</p> <p>ハンガーレールの取付け下地の補強 ・ 標準仕様書[20.2.4](3)(f) 図示 (図面番号 :) パネルをランナーに取り付ける部品 ・ 標準仕様書[20.2.4](3)(g) 図示 (図面番号 :) ハンガーレール ・ 標準仕様書[20.2.4](3)(h) 図示 (図面番号 :) ランナー ・ 標準仕様書[20.2.4](3)(h) 図示 (図面番号 :) ハンガーレールの固定方法 ・ 溶接 ・ あと施工アンカー (材質 : 、 寸法 :)</p>	4 トイレブース (20.2.5)	表面仕上 ・ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 ・ 幅木 ・ 図示 (図面番号 :) 扉小口の材質 ・ ステンレス製 ・ アルミ製	5 階段滑り止め (20.2.6)	・ ステンレス SUS304 製 ビニルタイヤ入り (両端フラットエンド付き) ・ () 寸法 ・ 約35mm ・ 図示 (図面番号 :) 工法 ・ 接着工法 ・ 埋込み工法	6 黒板及びホワイトボード (20.2.8)	・ 黒板 黒板の種類 ・ 焼付け ・ () 黒板の色 ・ 緑 ・ () ・ ホワイトボード (白)	7 鏡 (20.2.9)	厚さ ・ 5mm ・ () mm	⑧ 表示 (20.2.10)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>寸法</th> <th>印刷等の種類</th> <th>取付方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 室名札 ・ ()</td> <td>・ アクリル ・ ()</td> <td>・ 5mm ・ ()</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ シルクスクリーン印刷 ・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>○ 案内板 ・ ()</td> <td>・ アクリル ○ SUS</td> <td>○ 3mm ○ 図示</td> <td>○ 図示 ○ 図示</td> <td>・ シルクスクリーン印刷 ○ カッチングシート</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 衝突防止表示 図示 (図面番号 :) ・ 非常用出入口表示 図示 (図面番号 :)</p>	区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法	・ 室名札 ・ ()	・ アクリル ・ ()	・ 5mm ・ ()	・ () ・ ()	・ シルクスクリーン印刷 ・ ()	・ ()	○ 案内板 ・ ()	・ アクリル ○ SUS	○ 3mm ○ 図示	○ 図示 ○ 図示	・ シルクスクリーン印刷 ○ カッチングシート	・ ()																														
施工箇所	所定荷重	高さ (mm)	床仕上材及び厚さ (mm)	備考																																																																																		
			・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm	・ 帯電防止 ・ 漏えい抵抗 ・ 耐震性能 ・ ()																																																																																		
			・ タイルカーペット ・ 6.5mm ・ () ・ ビニル床タイル ()mm																																																																																			
区分	材質	厚さ	寸法	印刷等の種類	取付方法																																																																																	
・ 室名札 ・ ()	・ アクリル ・ ()	・ 5mm ・ ()	・ () ・ ()	・ シルクスクリーン印刷 ・ ()	・ ()																																																																																	
○ 案内板 ・ ()	・ アクリル ○ SUS	○ 3mm ○ 図示	○ 図示 ○ 図示	・ シルクスクリーン印刷 ○ カッチングシート	・ ()																																																																																	
16 床下防湿層 (4.6.2) (4.6.5)	施工範囲 ・ 図示 (図面番号 :) ポリエチレンフィルム厚さ ・ 0.15mm以上 ・ () ・ 防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。	④ セメント (6.3.1) (表6.3.1)	種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種 シリカセメントA種、フライアッシュセメントA種 ・ () 高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種 ・ 適用箇所 図示 (図面番号 :)	3 こまい下地 (15.2.6)	耐力壁の指定 ・ 図面 (図面番号 :)	木ずり用小幅板の樹種 ・ 図示 (図面番号 :)	5 モルタル塗り (15.3.2) (15.3.5)	材料 ・ 現場調査材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する 図示 (図面番号 :) 床の目地 ・ 図示 (図面番号 :) 下地モルタル、下地調整塗材の接着剤試験 (外壁タイル張り等) ・ 実施する	6 セルフレベリング (15.5.2) (表15.5.1)	種類 ・ せっこう系 ・ セメント系	⑦ 仕上塗材仕上 (15.6.2) (表15.6.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">薄付仕上塗材</td> <td>・ 外装薄塗材E</td> <td>・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材E</td> <td>・ 砂壁状ジュラク</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">厚付け仕上塗材</td> <td>・ 外装厚塗材C</td> <td>スタックコ ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ 吹き落とし</td> <td>・ 吹付け ・ こて</td> </tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材S1</td> <td>スタックコ ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状</td> <td>・ 吹付け ・ こて</td> </tr> <tr> <td>・ 外装厚塗材E</td> <td>スタックコ ・ 吹放し ・ 凹凸状 ・ ひき起こし</td> <td>・ 吹付け ・ ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複層仕上塗材</td> <td>・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE</td> <td>・ ゆず肌状 ・ 凸部処理</td> <td>・ ローラー ○ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 防水型複層塗材E ○ 防水型複層塗材RE</td> <td>○ 平坦</td> <td>○ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軽量骨材 仕上塗材</td> <td>・ 吹付け軽量塗材</td> <td>・ 砂壁状</td> <td>・ 吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ こて塗用軽量塗材</td> <td>・ 平たん状</td> <td>・ こて</td> </tr> </tbody> </table>	種類	呼び名	仕上形状	工法	薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け	・ 内装薄塗材E	・ 砂壁状ジュラク	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	スタックコ ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ 吹き落とし	・ 吹付け ・ こて	・ 外装厚塗材S1	スタックコ ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状	・ 吹付け ・ こて	・ 外装厚塗材E	スタックコ ・ 吹放し ・ 凹凸状 ・ ひき起こし	・ 吹付け ・ ローラー	複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理	・ ローラー ○ 吹付け	・ 防水型複層塗材E ○ 防水型複層塗材RE	○ 平坦	○ 吹付け	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	軽量骨材 仕上塗材	・ 吹付け軽量塗材	・ 砂壁状	・ 吹付け	・ こて塗用軽量塗材	・ 平たん状	・ こて	6 ① コンクリートの 気乾単位容積質量による種類及び強度 (6.2.1～4)	○普通コンクリート 設計基準強度 (N/mm ²) スラブ 適用箇所 ・ 軽量コンクリート (6.2.1～3) (6.10.1, 2)	⑥ コンクリートの材料 (6.3.1) (表6.3.2)	混和材料 ・ 図示 (図面番号 :) 混和剤の種類、使用方法、使用量 ○ 標準仕様書 [6.3.1] (4) (a)、標準仕様書 [6.3.2] (4) (f) ・ () 混和剤の種類、使用方法、使用量 ○ 標準仕様書 [6.3.1] (4) (b)、標準仕様書 [6.3.2] (4) (f) ・ () 構造体強度補正值 (S) ○ 標準仕様書 [表6.3.2] ・ ()	7 打継ぎ (6.6.4)	位置 ・ 標準仕様書 [6.6.4] (1) ・ 図示 (図面番号 :)	8 養生 (6.7.2)	・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 ()	9 型枠 (6.6.4) (6.8.1) (6.8.2) (表6.8.1)	材料 ・ 複合合板 (厚さ (mm) ・ 12 ・ () ・ () 打直し厚さ ・ 図示 (図面番号 :) 誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号 :) ・ 断熱材の兼用 ・ MCR工法用シート スリーブの材質、規格等 ・ 標準仕様書 [表6.8.1] ・ 図示 (図面番号 :) 型枠存置期間及び取外し ・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 ()	10 寒中コンクリート (6.11.1)	適用期間 () ・ 調査管理強度、調査強度を積算温度を基に定める	11 暑中コンクリート (6.12.2)	構造体強度補正值 (S) ・ 6 N/mm ² ・ ()	12 マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2) (表6.13.1)	適用箇所 ・ 図示 (図面番号 :) セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 中筋ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ シリカセメント スラブ ・ 15cm ・ () 混和剤の種類 ・ 標準仕様書 [6.13.2] (2) (f) ・ () 混和材の種類 ・ 標準仕様書 [6.13.2] (2) (4) ・ () 構造体強度補正值 (S) ・ 標準仕様書 [表6.3.1] ・ ()	14 流動化コンクリート (6.15.1)	適用箇所 ・ 図示 (図面番号 :)	③ 無筋コンクリート (6.14.1)	コンクリートの種類 ○普通コンクリート ・ () 適用箇所 標準仕様書 [6.14.1] ○ 上記以外の適用箇所 (編壁) 設計基準強度 ○ 18(N/mm ²) ・ () (N/mm ²) スラブ ○ 8cm ・ 18cm	14 流動化コンクリート (6.15.1)	適用箇所 ・ 図示 (図面番号 :)	第7章鉄骨工事～第14章金属工事 削除	8 マステック塗材塗り (15.7.2) (表15.7.1)	種類 ・ A種 ・ B種	9 せっこう プラスター塗り (15.8.2) (15.8.3)	材料 下塗り、中塗り ・ 既調合プラスター ・ 現場調合プラスター 上塗り ・ 既調合プラスター ・ しゃくい塗り	ALC/パネル下地の内壁目地 ・ V形目地付き ・ () (15.6.4)	8 マステック塗材塗り (15.7.2) (表15.7.1)	種類 ・ A種 ・ B種	9 せっこう プラスター塗り (15.8.2) (15.8.3)	材料 下塗り、中塗り ・ 既調合プラスター ・ 現場調合プラスター 上塗り ・ 既調合プラスター ・ しゃくい塗り
種類	呼び名	仕上形状	工法																																																																																			
薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け																																																																																			
	・ 内装薄塗材E	・ 砂壁状ジュラク	・ ()																																																																																			
	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																			
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	スタックコ ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ 吹き落とし	・ 吹付け ・ こて																																																																																			
	・ 外装厚塗材S1	スタックコ ・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状	・ 吹付け ・ こて																																																																																			
	・ 外装厚塗材E	スタックコ ・ 吹放し ・ 凹凸状 ・ ひき起こし	・ 吹付け ・ ローラー																																																																																			
複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理	・ ローラー ○ 吹付け																																																																																			
	・ 防水型複層塗材E ○ 防水型複層塗材RE	○ 平坦	○ 吹付け																																																																																			
・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																																																																			
軽量骨材 仕上塗材	・ 吹付け軽量塗材	・ 砂壁状	・ 吹付け																																																																																			
	・ こて塗用軽量塗材	・ 平たん状	・ こて																																																																																			
5 鉄筋工事	① 鉄筋 (5.2.1)	① 鉄筋の種類 (5.2.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○SD295A</td> <td>○D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD295B</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>・ D19以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの</p>	種類の記号	径	備考	○SD295A	○D16以下		・SD295B	・ ()		・SD345	・ D19以上		2 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm) ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ () 寸法 (mm) ・ 100×100 ・ 150×150 ・ ()	3 内法直径 (5.3.2)	90°未満の折曲げの内法直径 ・ 図示 (図面番号 :)	④ 継手 (5.3.4)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>径</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 重ね継手</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ガス圧接</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ○ 標準仕様書 [5.3.4] (3) (7) ・ 図示 (図面番号 :) 継手位置 ・ 各部配筋参考図による ・ 図示 (図面番号 :) 鉄筋定着 ○ 標準仕様書 [表5.3.4] ・ 図示 (図面番号 :) ○ 標準仕様書 [表5.3.4] ・ 図示 (図面番号 :)</p>		径	部位	○ 重ね継手			・ ガス圧接			5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5) (表5.3.6)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ○ 標準仕様書 [表5.3.6] ・ 図示 (図面番号 :)	6 各部配筋 (5.3.7)	○ 図示 (図面番号 :)	7 圧接完了後の試験 (5.4.10)	抜取試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験 引張試験方法 ・ 標準仕様書 [5.4.10] (4) (b) ・ ()	8 機械式継手及び溶接継手 (5.5.2) (5.6.3)	・ 機械式継手 適用箇所 () 種類 () 性能 () 施工完了後の継手部の試験 () 不合格となった継手部への措置 () 鉄筋相互のあき ()mm ・ 溶接継手 適用箇所 () 工法 () 性能 () 施工完了後の溶接部の試験 () 不合格となった溶接部への措置 () 鉄筋相互のあき ()mm	6 コンクリート工事	① コンクリートの 気乾単位容積質量による種類及び強度 (6.2.1～4)	○普通コンクリート 設計基準強度 (N/mm ²) スラブ 適用箇所 ・ 軽量コンクリート (6.2.1～3) (6.10.1, 2)	14 流動化コンクリート (6.15.1)	適用箇所 ・ 図示 (図面番号 :)	第7章鉄骨工事～第14章金属工事 削除	8 マステック塗材塗り (15.7.2) (表15.7.1)	種類 ・ A種 ・ B種	9 せっこう プラスター塗り (15.8.2) (15.8.3)	材料 下塗り、中塗り ・ 既調合プラスター ・ 現場調合プラスター 上塗り ・ 既調合プラスター ・ しゃくい塗り	ALC/パネル下地の内壁目地 ・ V形目地付き ・ () (15.6.4)	8 マステック塗材塗り (15.7.2) (表15.7.1)	種類 ・ A種 ・ B種	9 せっこう プラスター塗り (15.8.2) (15.8.3)	材料 下塗り、中塗り ・ 既調合プラスター ・ 現場調合プラスター 上塗り ・ 既調合プラスター ・ しゃくい塗り																																	
種類の記号	径	備考																																																																																				
○SD295A	○D16以下																																																																																					
・SD295B	・ ()																																																																																					
・SD345	・ D19以上																																																																																					
	径	部位																																																																																				
○ 重ね継手																																																																																						
・ ガス圧接																																																																																						
備考	令和 3 年 6 月 15 日				SCALE : N / S	工事名称		図面名称																																																																														
					龜山市産業建設部	都市整備課		龜山駅東自転車駐車場新築工事																																																																														
					龜山駅前整備G			建築工事特記仕様書 (2)																																																																														
								R 2 年版																																																																														
								T02																																																																														

20 ユニット及びその他工事

9 煙突ライニング (20. 2. 11)
適用安全使用温度 (℃)

10 ブラインド (20. 2. 12)
形式
・ 横形ブラインド
・ アルミニウム合金
・ ()
・ 縦形ブラインド
・ アルミニウム合金
・ ()

11 ロールスクリーン (20. 2. 13)
操作方法
・ スプリング式
・ コード式
・ 電動式
寸法及び材質
・ 図示(図面番号:)

12 カーテン及びカーテンレール (20. 2. 14)
カーテンの形式等

きれ地	ひだの種類	形式	開閉操作
・ ドレープ ・ レース ・ 図示()	・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまみひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動
・ 織幕(透光()級)	・ ()	・ ()	・ ()

カーテンレール
・ アルミ製
・ ステンレス製
強さによる区分
・ 10-90
形状
・ シングル
・ ダブル
断面形状
・ 角形
・ C形
・ D形

13 プレキャストコンクリート工事 (20. 3. 2) (20. 3. 3) (20. 3. 4)
補強鉄線の径
・ 3. 2mm
補強鉄線の網目寸法
・ ()
設計基準強度F_c
・ 図示(図面番号:)
配筋
・ 図示(図面番号:)
取付方法
・ 図示(図面番号:)

14 間知石及び間知ブロック (20. 4. 2) (20. 4. 3)
材質
・ ()
種類及び質量区分
・ 図示(図面番号:)
積み方
・ 谷積み
・ 布積み
目塗り
・ ()
伸縮調整目地
・ 材質()
・ 厚さ(mm)

15 サイクルポート
16 サイクルラック
17 掃除用具入

四国化成 LIFT 同等品
四国化成 S8型 同等品
四国化成 GSAP4-1212SC 同等品

22 舗装工事

1 ① 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5)
路床の材料(厚さは図示(図面番号:))
・ 遮断層
・ 川砂
・ 海砂又は良質な山砂
・ 凍上抑制層
・ 切込み砂利
・ 砂
・ フィルター層
・ 砂
路床安定処理
・ 行う
添加材料による安定処理
種類
・ 普通ポルトランドセメント
・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰()号
・ 消石灰()号
添加量()kg/m³(目標CBR
・ 5以上
・ ())
塵土に用いる材料
・ A種
・ B種
・ C種
・ D種
・ 建設汚泥から再生した処理土
C種の場合: 建設発生土受入量()m³
片道の運搬距離()km
試験
・ 路床土の支持力比(CBR)試験
・ 路床締固め度の試験
・ 現場CBR試験

2 ② 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)

舗装の種類	路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部	路盤材料
○ アスファルト舗装	○ (160) ()	○ 再生クラッシュラン
・ カラー舗装	・ () ()	・ クラッシュラン
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ()	・ 鉄鋼スラグ
・ インターロッキング ブロック舗装	・ () ()	・ クラッシュラン
・ ()	・ () ()	・ ()

3 ③ アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)
舗装の構成及び厚さ
・ A-5-15
○ 図示(図面番号:)
・ A-3-10
・ ()
表層の種類
○ 密粒度7A7_{0.075}混合物(13)
○ 細粒度7A7_{0.075}混合物(13)
・ ()
基層の種類
・ 粗粒度7A7_{0.075}混合物(20)
・ ()
試験
・ アスファルト混合物等の抽出試験

4 ④ コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6)
舗装の構成及び厚さ
○ 図示(図面番号:)
構造
○ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ()
・ ()
早強セメント
・ 使用する
注入目地材料
※ 低弾性タイプ
・ 高弾性タイプ
目地
○ 種類(カッター目地)
○ 間隔(図示)
・ 標準仕様書 [表22. 5. 3]

5 カラー舗装 (22. 6. 2) (22. 6. 3)
種類
・ 加熱系
構成及び厚さ()
混合物
・ アスファルト
・ 石油樹脂系(顔料の添加量:)
添加材
・ 着色骨材
・ 自然石
・ 常温系
工法
・ ニート工法
・ 塗布工法
着色部下部
・ アスファルト舗装
・ コンクリート舗装

6 透水性アスファルト舗装 (22. 7. 2) (22. 7. 6) (表22. 7. 1)
舗装材料及び厚さ
ストレートアスファルト
厚さ(mm)
・ ()
・ 図示(図面番号:)
試験
・ 開粒度アスファルト混合物の抽出試験

7 ブロック系舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3) (表22. 8. 1)

舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・ コンクリート 平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し
・ インター ロッキング ブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ () ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()
・ 鋪石舗装	・ 小鋪石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80 ・ 100 ・ 80~100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

8 砂利敷き (22. 9. 2) (表22. 9. 1)
・ 構内側溝内部 ※ A種
・ B種 ()
・ 建物周囲 ※ B種
・ A種 ()

23 植栽及び屋上緑化工事

1 ① 植栽地の確認等 (23. 1. 3)
試験
・ 土壌の水素イオン濃度(pH)試験
・ 電気伝導率(EC)の試験
・ ()の試験

2 ② 植栽基盤 (23. 2. 2) (23. 2. 3) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)
植栽基盤整備工法
・ 樹木 (※ A種 ())
○ 芝及び地被類 (※ B種 ())
有効土層 面積 ○ 図示(図面番号:)
厚さ ○ 図示(図面番号:)
排水設備
・ 設ける
(・ 暗きよ
・ 開きよ
・ 排水層
・ 縦穴排水 ())
埋込み用土
・ 現場発生の良質土
○ 客土
土壌改良材 ()

3 植樹 (23. 3. 2) (23. 3. 3)
樹木の種類
・ 図示(図面番号:)
寸法
・ 図示(図面番号:)
株立数
・ 図示(図面番号:)
刈込み
・ あり
・ なし
支柱材
・ 丸太(防腐処理方法
※ 加圧式防腐処理方法 ())
・ ()
支柱形式
・ 鳥居形
・ ハツ掛け系 ()
幹巻き用材料
※ 幹巻き用テープ
・ わら
・ こも

4 ④ 新植樹木の枯損償 (23. 3. 4)
引渡しの日から
○ 1年 ()

5 移植樹木の枯損処理 (23. 3. 6)
引渡しの日から
・ 1年 ()

6 ⑥ 芝、吹付けは種及び地被類 (23. 4. 2) (23. 4. 3)
芝
種類
※ コウライシバ
・ ノシバ ()
吹付けは種及び地被類
○ 図示(図面番号:)

7 屋上緑化 (23. 5. 2) (23. 5. 3) (23. 5. 4)
植栽基盤及び材料
・ 屋上緑化システム
土壌層の厚さ
・ 図示(図面番号:)
排水層
・ 軽骨材(層の厚さ:)
・ 板状成形品
埋込み用土
・ 改良土
・ 人工軽量土
樹木の材質
図示(図面番号:)
寸法
図示(図面番号:)
株立数
図示(図面番号:)
・ 屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等
・ 図示(図面番号:)
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等
・ 図示(図面番号:)
支柱
・ 図示(図面番号:)
かん水装置
・ 図示(図面番号:)
風圧力に対応した工法
・ 図示(図面番号:)

21 排水工事

1 ① 排水管 (21. 2. 1) (表21. 2. 1)
排水管用材料

材種	管の種類	呼び径	備考
○ 硬質ポリ塩化ビニル管	VU	50, 100, 150, 200	

2 ② 排水側等 (21. 2. 1)
○ 排水側
種類及び寸法
○ 図示(図面番号:)
・ 適用荷重 ()
○ 排水溝
種類及び寸法
○ 図示(図面番号:)
○ ふた/グレーチングの種類

材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	ボルト固定
○ 図示	○ 図示	○ 図示	○ 図示	○ 図示

3 ③ 地業の材料 (21. 2. 1)
○ 再生クラッシュラン
・ 切込砂利又は切込砕石
・ 砂の粒度試験

4 ④ 埋め戻し土 (21. 2. 1)
※ B種
・ A種
・ C種
・ D種
・ 建設汚泥から再生した処理土

5 ⑤ 施工 (21. 2. 2)
遠心力鉄筋コンクリート管
基礎の厚さ、種類
・ 図示(図面番号:)
硬質ポリ塩化ビニル管
基礎の厚さ、種類
○ 砂、100mm
・ 図示(図面番号:)
継手
○ 接着剤
・ ゴム輪

6 ⑥ 街きよ、縁石、側溝 (21. 3. 1) (21. 3. 2)
コンクリート縁石、側溝
形状、寸法
○ 図示(図面番号:)
地業
厚さ
※ 100mm
・ 図示(図面番号:)

仕 様 書

工 事 名 称 亀山駅東自転車駐車場新築工事

I. 工事概要

1. 工事場所 亀山市御幸町地内

2. 建物概要

建物名称	構造及び階数	敷地面積	延床面積	消防令の適用	備考
駐 輪 場	その他	m ²	135.54 m ²	令別表第1項 (15)	

3. 工事種目 (○印の付いたものが対象)

建物別及び屋外	工 事 種 別
工 事 種 目	
・高圧引込設備	
・受変電設備	
・自家発電設備	
・動力設備	
・電灯設備	○
・電話設備	
・拡声設備	
・情報・LAN設備	○
・テレビ設備	
・テレビ共同受信設備	
・インフラ設備	
・呼出表示設備	
・火災報知設備	
・避雷針設備	
・電話機器設備	
・警備保障用配管設備	
・CVC設備	
・中央監視制御設備	
・太陽光発電設備	
・構内配電線路	○
・構内通信線路	○

4. 指定部分 ○無 ・有
対象部分:

項目	項目	設 備 概 要
一 般 共 通 事 項	①適用範囲	本特記仕様書は各共通仕様書、各標準仕様書及び補足事項に記載なき事項を特記するものであり各工事において、他工事との設関連事項は、各該当工事の記載事項を参照とする。図面及び特記仕様書に記載されない事項は、日本建築家協会編「建築設備工事共通仕様書」(最新版)による。
	②法 規	本工事は、電気設備基準、消防法、条例、指導等関連官公庁規定に従う。
	③疑 義	本工事の設計図に関する疑義は、工事契約前に質疑応答書をもって確認するものとする。設計図に記載なくも、外観上、構造上、機能上、当然必要と思われるものは、監理者の指示に従い、請負金額の範囲において、施工するものとする。本工事の設計図書の優先順位は下記とする。 (1) 質疑応答書 (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 設計図 (5) 日本建築家協会編「電気設備共通仕様書」
	④優先順位	
	⑤設計変更	設計変更又は追加工事の生じた場合は、速やかに監理者の指示に従い、増減額見積書を提出する。
	⑥軽微なる変更	現場の納まり取り合い等の関係で、材料の寸法位置、取付寸法、取付員数の増減は、軽微なる変更とし監理者の指示に従う。
	⑦発生材の処理	(1) 引渡を要するもの ○無し ・有り(・金属類 ・) (2) 特別管理産業廃棄物 ○無し ・有り(・PCB使用機器 ・) (3) 再生資源化を図る物 ○無し ・有り(・) (4) 上記(1)～(3)以外の発生材の処分地() (5) 照明器具安定器にPCBが使用されている場合は、安定器を本体より分離し金属箱に収納して建物管理者に引き渡す。
	⑧施工図	施工上、必要な図面は、全て施工者において遅滞なく作成し監理者の承諾を受ける。承諾を受けずに施工した場合は、やり直しを命ずることがある。
	⑨立会検査	基礎及び各階配筋完了時、工事中間検査、完了後に検査困難な箇所を施工する場合、製品検査、主要機器が設置される場合、工事完了検査(総合運転試験)、監理者が特に指示した場合監理者の検査を受け承諾を得なければならない。

- ⑩ 工事写真
工事写真は監理者の指示に従い、各工事の要点を撮影し、内容説明の上771Mにて提出する。竣工写真は監理者の指示する位置より、771Mにて撮影し、771Mにて編集し提出する。
- ⑪ 竣工図
竣工図は監理者の指示に従い、製本、縮小製本、第二原因を請負者において作成する。
- ⑫ 官公署への手続
- ⑬ 災害及び公害の防止
本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建築工事公害災害防止対策要綱、建築副産物適正処理推進要綱、その他関係法令に従い処理すること。
災害又は公害が発生した場合は、速やかに適切な処置をとり、直ちにその経過を監理者及び施主に報告をする。
- ⑭ 臨機の処理
- 15 既存部分との取合
既存部分と今回工事との取り合い部分、その他ではつり及び工事の都合により破損、損傷させた箇所今回仕上げ及び旧工事仕上げと同材にて補修しなければならない。
請負者は監理者の指示に従い工事提出書類を提出しなければならない。
分離発注の場合の電気工事請負者は他の業者に対して協力を惜しまず、工程上の段取り、打合を行い現場内の全てに統制を計ることに努める。
- ⑮ 提出書類
- 17 分離発注の場合
- 18 耐震施工
設備機器の固定は、次に示す事項を除きすべて「建築設備耐震設計・施工指針(日本建築学会)2014年版」による。
外部に面する壁、天井で建築工事で27101M等打ち込み箇所に取り付ける位置が771Mなどは保温、結露防止処置を行う。
- 19 保温、結露防止
合成樹脂製可とう管
合成樹脂製可とう電線管(PF管)及び付属品は、771M -25 のものを使用する。なお、PF管は波付管の一重管とする。
電力用位置771M類は、原則として合成樹脂製とするが771M打込み部分は、金属製としてもよい。ただし、金属製とする場合は当該771Mには接地を施すものとする。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。
- ⑯ 電線本数、管路等
- 22 インサート
長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のピン被覆鉄線を挿入する。
- 23 呼び線
・新金属 ・ステンレス ・樹脂製
- 24 プレート
水平調整付きプレート(空転防止リブ付き)
- 25 771Mプレート
既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴明けは、図面に特記なき場合は原則として771Mカットによる。
- 26 はつり
工事着工前に、取り外し機器が接続されている分岐回路の絶縁抵抗を測定する。
取り外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定の上、取付ける。
各接地の抵抗値は電気設備基準第18条に従い施工する。
下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
・屋外 ・居室
・中配管で、特記なき埋設深さは0.6m以上とする。
- 27 取り外し機器
- ⑰ 接地抵抗
- 29 塗装工事
- ⑱ 地中配管の埋設深さ等

1 工事範囲	○配管 ○配線 ・機器類 ○盤類
2 電気方式	分岐 ・単相3線式 100/200V ○単相2線式 (・100V ・200V) ・直流2線式 100V
3 蛍光灯安定器	・省電力型 ・一般型 ・LED ・高力率 :40W以上 (・200V ・100V) ・低力率 :40W以上 (・200V ・100V)
4 HID型安定器	・一般形 ・定始動電流形 ・電圧 (・200V ・100V) ・低力率 ・高力率
5 非常用照明装置	国土交通省住宅局建築指導課監修の「防災設備に関する指針」(最新版)による。
6 非常用照明器具	・電池内蔵形 ・電池別置形 ・飛び出し形 ・外部固定形 ・銅合金製 ・771M製
7 ハイフォンアクト	埋込形分電盤からの立ち上がり予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を一本、5個以上の場合(25)を二本、天井までたちあげる。
8 予備配管	
1 工事範囲	・配管 ・配線 ・制御盤類
2 電気方式	幹線 ・3相3線式 200V 分岐 ・3相3線式 200V
3 警報盤	壁掛形(電源装置 ・内蔵 ・別置)
4 電磁開閉器用押印(遠方操作用)	埋込連用形配線器具
5 機器への接続	電動機などへの接地は本工事とする。
6 電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
1 工事範囲	・配管 ・配線 ・機器類
2 電気方式	幹線 : 線式 V ・ 約 ・ 約
3 施工場所・面積	
1 工事範囲	・配管 ・配線 ・機器類
2 電気方式	幹線 : 線式 V ・ 約 ・ 約
3 施工場所・面積	

章 項 目	特 記 事 項
1 工事範囲	・配管 ・配線 ・機器類
2 電気方式	高圧 ・3相3線式 6kV ・50HZ ・60HZ 低圧 ・3相3線式 200V 低圧 ・単相3線式 100/200V
3 配電盤	・屋外形 ・屋内形 ・キュービクル配電盤 ・高圧閉鎖配電盤 ・ 高圧交流遮断器(CB) ・ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器(PF-S) ・ 定格遮断電流 KA ・ 変圧器総容量 KVA
4 主遮断装置	・高圧 ・低圧
5 設備容量	・無効電力検出方式 ・力率検出方式
6 進相コンデンサ	
7 自動力率制御装置	
1 直流電源装置	・非常用照明器具電源 受変電設備制御電源共用 ・受変電設備専用
2 交流無停電電源装置	・用途 () ・容量 KVA
1 工事範囲	・機器類 ・簡易形 ・キュービクル形 ・オープン形
2 形式	・電気方式 3相3線式 60HZ 電圧 200V 定格出力 66.0kVA
3 発電機	・ダイゼイル ・ガスタービン
4 原動機	・定格出力 PS以上 始動方式 ・電気式 ・空気式
5 燃料	種類 ・軽油 ・灯油 ・A重油
1 工事範囲	・受雷部 ・引き下げ導線 ・接地極埋設
2 受雷部	・突針 ・むね上導体 ・金属製手すり(別途)など
3 避雷導線	・引下げ導線 ・建築構造体利用
4 接地極	・接地極埋設 建築構造体利用
1 工事範囲	・配管 ・配線 ・機器類
2 局 線 数	・光ケーブル 000回線 ・多コアケーブル 000回線
3 配 線 方 式	・空配管 ・配管配線 ・ケーブル配線
4 電 話 受 口	・バルブプレート ・モジュラージャック
5 引 込 方 法	・架空 ・地中 ・構内地中
1 工事範囲	・配管 ・配線 ・機器類
2 方 式	・FTTH ・イーサネット ・VDSL
3 回 線 事 業 者	・NTT西日本 ・コソフ光 ・その他
4 引 込 方 法	・架空 ・地中 ・構内地中
5 そ の 他	引込及び加入費・光ケーブル等は、別途工事とする。 光ファイバケーブル対応インサート方式とする。
1 工事範囲	・配管 ・配線 ・機器類
2 アンテナ	・UHF(・地上波デジタル) ・BS ・110°CS ・VHF 材質 ・ステンレス ・771M ・自立型 ・側壁取付型 ・ステンレス ・溶融亜鉛めっき 放送会社 ・加入金 ・別途 ・本工事 機器類は全て地上デジタル放送対応品とする。 同軸ケーブルは低損失タイプを使用する。
3 アンテナ	
4 CATV	
5 そ の 他	
1 工事範囲	○配管 ○配線 ○機器類
2 機 器	○本工事(・カラー ・白黒) ・別途
3 伝 送 方 式	・771M ○ネットワーク
4 その他	
1 工事範囲	・配管 ・配線 ・機器類
2 用 途 ・ 種 別	・インターネット ・ネットワーク ・テレビ出し装置

章 項 目	特 記 事 項
1 工事範囲	・配管 ・配線 ・機器類
2 自 火 報 告 機	総務省令40号 ・対応(・住戸用 ・共用用) ・非対応 ・特定小規模施設用 受信機 ・P型 ・GP型 ・R型 ・GR型
3 防 排 煙 設 備	閉鎖装置の種類 ・扉 ・シャッター ・ダンパー ・垂れ壁 ・排煙口 連動制御盤 ・自火報受信機複合盤 ・専用
4 非 常 警 報	・非常ベル ・放送設備
5 ガス漏れ警報器	・本工事(・都市ガス用 ・LPガス用) ・ベースのみ ・別途
6 そ の 他	総務省令40号適用にかかる届出・手続き等は施工者にて遅滞なく行う。
1 工事範囲	・配管 ・配線 ・機器類
2 用 途	・業務用 ・非常用 ・業務非常兼用
3 ソフト形式	・ラック型 ・壁掛型 ・卓上型(既設)
1 適用 J I S	・ JIS A 4201(2003) ・ JIS A 4201(1992)
2 受 雷 部	・突針(・側壁取付型 ・自立型) ・水平導体
3 引 下 げ 導 線	・構造体利用 ・避雷導線
4 そ の 他	避雷導体から1.5m以内の金属体は接地する。
1 工事範囲	・配管 ・配線 ・機器類
2 検 出 装 置	・赤外線式 ・超音波式
3 機 器	・本工事 ・別途
1 工事範囲	・配管 ・配線 ・機器類
2 用 途	・ガス用 ・水道用
3 機 器	・本工事 ・別途

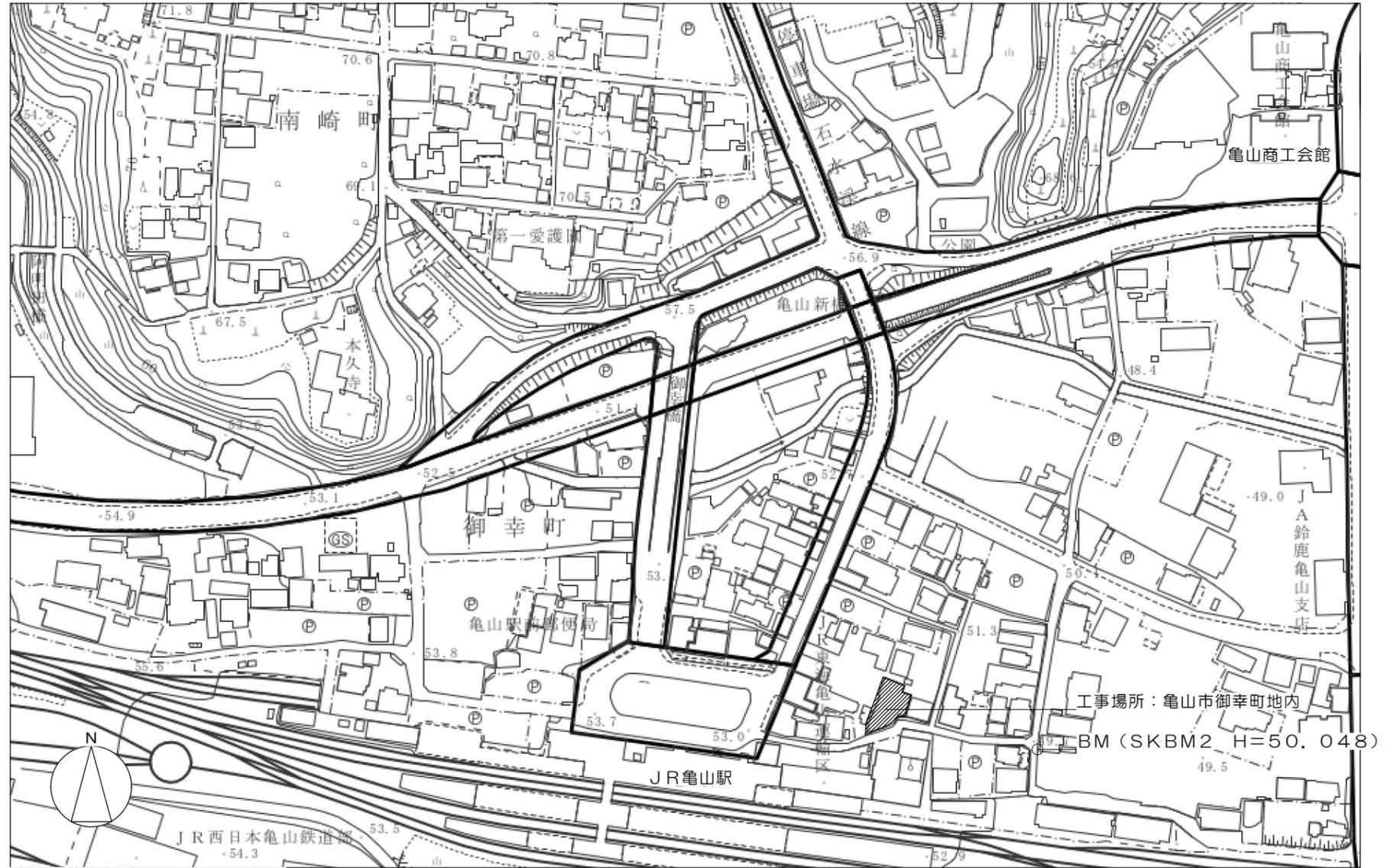
メーカーリスト (下記メーカー又は同等品以上とする。)

電線・ケーブル	古河電気工業	住友電気工業	矢崎総業	西日本電線	771M
分岐ケーブル	河村電線工業	矢崎総業	日立電線	昭和電線	三菱電線工業
電線管・付属品	パナソニック	丸一鋼管	裕ノ電工		
合成樹脂管	積水化学工業	パナソニック	未来工業	古河電気工業	
ケーブルラック・レスクワイ	裕ノ電工	パナソニック	未来工業		
発 電 機	ヤマハ	三菱重工	西日本発電機		
キュービクル	内外電機	河村電器産業	日東工業		
盤 類	771M	内外電機	パナソニック	河村電器産業	日東工業
変 圧 器	ダイソン	三菱電機	パナソニック		
コンデンサ	ニチン	三菱電機	パナソニック		
開閉器類	三菱電機	パナソニック	河村電器産業	日東工業	
配線器具	神保電器	パナソニック	東芝ライテック		
照明器具	パナソニック	東芝ライテック	大光電機	遠藤照明	
テレビ共聴機器	DXアンテナ	八木アンテナ	パナソニック	マサノ電工	
放 送	TOA	パナソニック	JVCケンウッド		
防 災	ニッシン	パナソニック	キチ	能美防災	
I T V 機 器	TOA	パナソニック			
インターネット	771M	パナソニック			
避 雷 針	大坂避雷針	名古屋避雷針	NIPエン지니어リング		

【計 画 概 要】

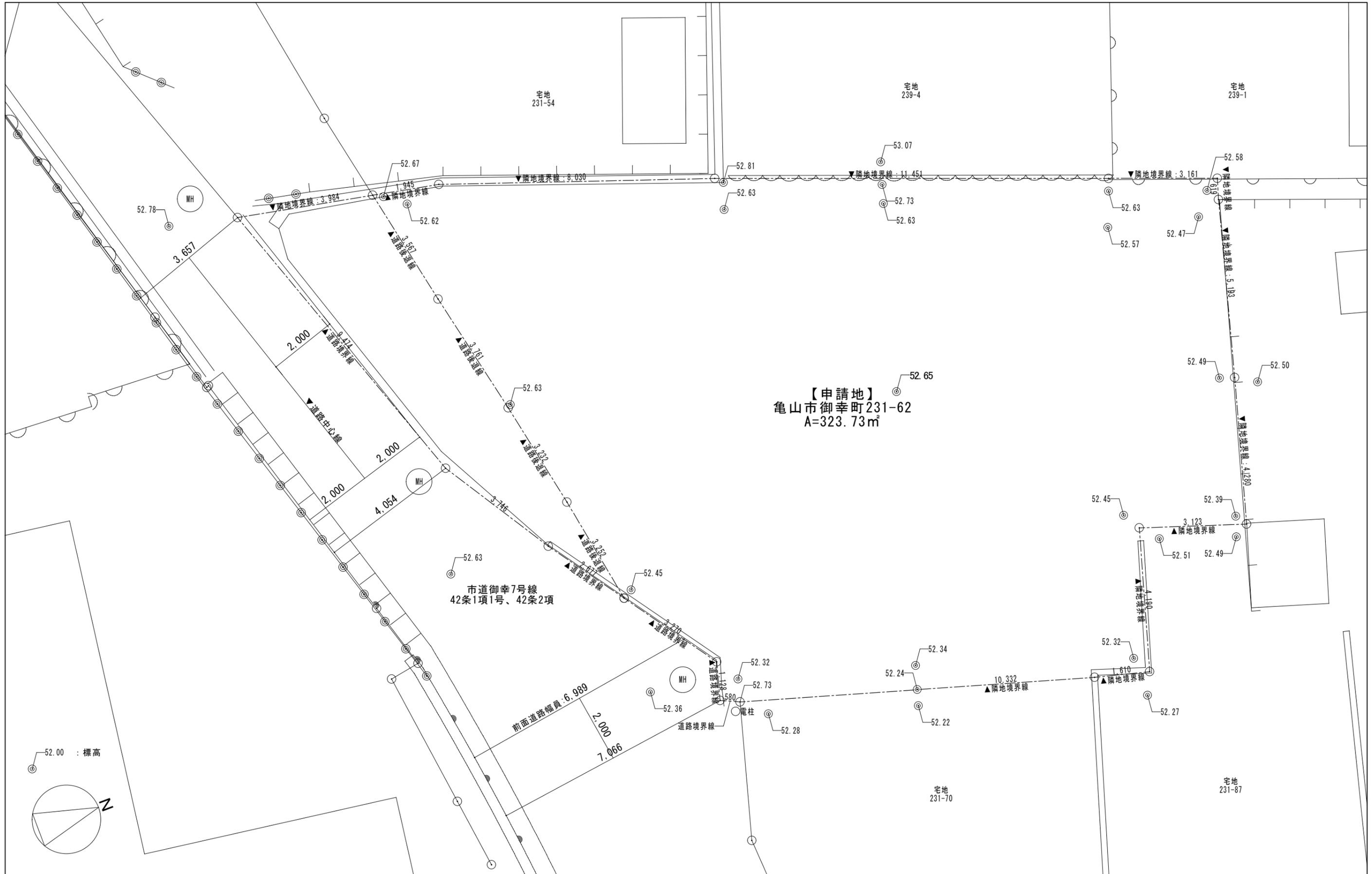
【付 近 見 取 図】

工事名称	亀山駅東自転車駐車場新築工事		
工事場所	亀山市御幸町地内		
地名地番	亀山市御幸町字貝戸部 231-62		
防火地域等	準防火地域		
用途地域	商業地域		
指定容積率	400%		
指定建蔽率	80%		
敷地面積	323.73 m ² (道路拡幅後290.06m ²)		
前面道路幅員	6.989m		
接道長さ	20.295m (道路拡幅後18.210m ²)		
主要用途	自転車駐車場		
構造・規模	アルミ合金造		
耐火建築物	その他		
延床面積	135.54m ²		
容積率	41.86% (道路拡幅後46.72%)		
建築面積	135.54m ²		
建蔽率	41.86% (道路拡幅後46.72%)		
最高の高さ	【A棟】	2.185m	【BC棟】 2.330m
軒の高さ		2.185m	2.330m
最高の高さ	【D棟】	2.535m	【E棟】 2.300m
軒の高さ		2.535m	2.300m



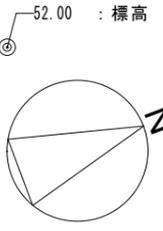
地形図(白地図) 1/2500加工

備考	令和3年6月15日	SCALE : 1/2500	工事名称	図面名称
		亀山市産業建設部	亀山駅東自転車駐車場新築工事	計画概要・付近見取図
		都市整備課		
		亀山駅前整備G		

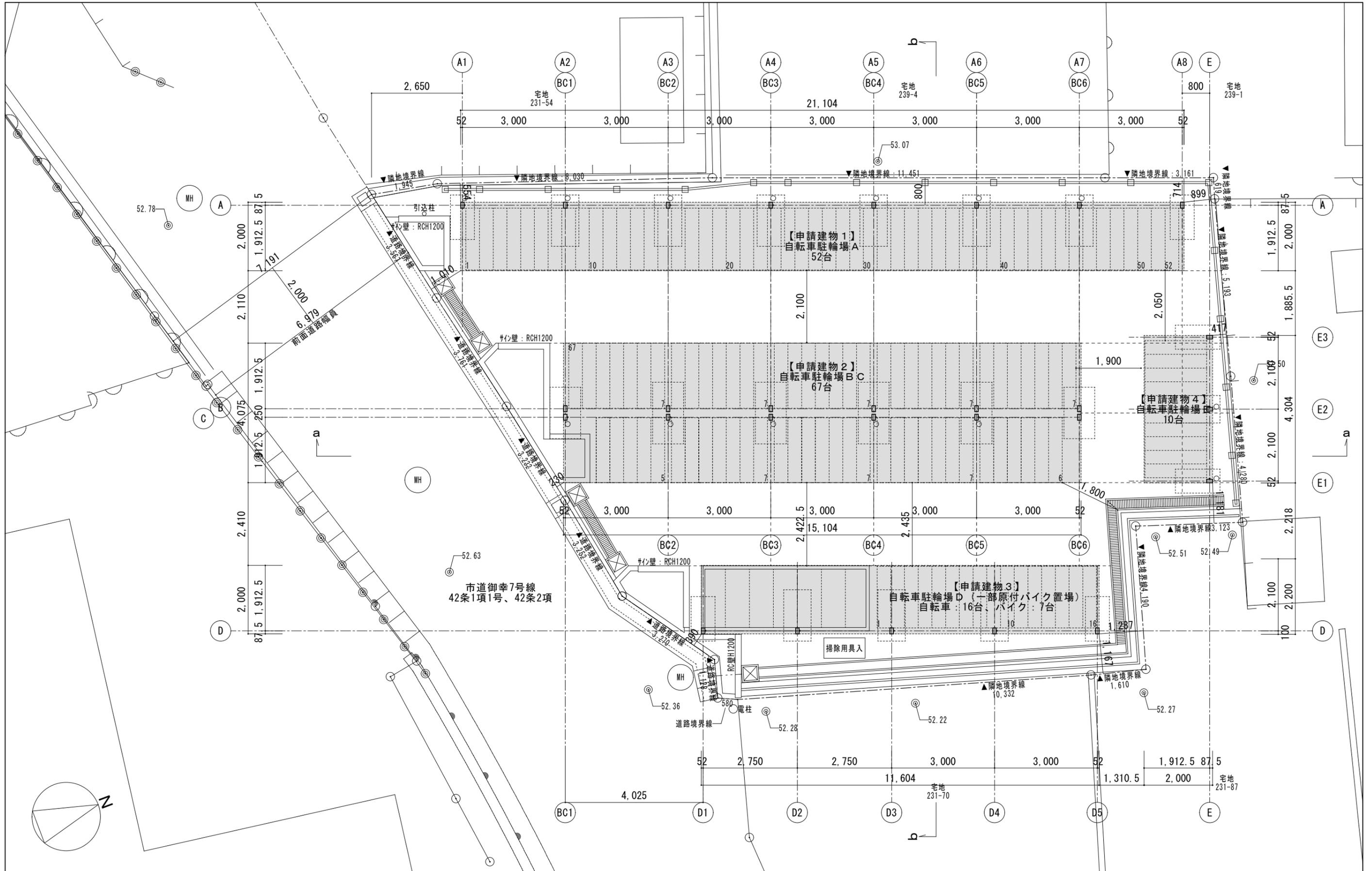


【申請地】
 亀山市御幸町231-62
 A=323.73㎡

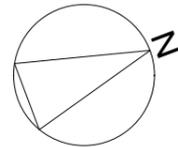
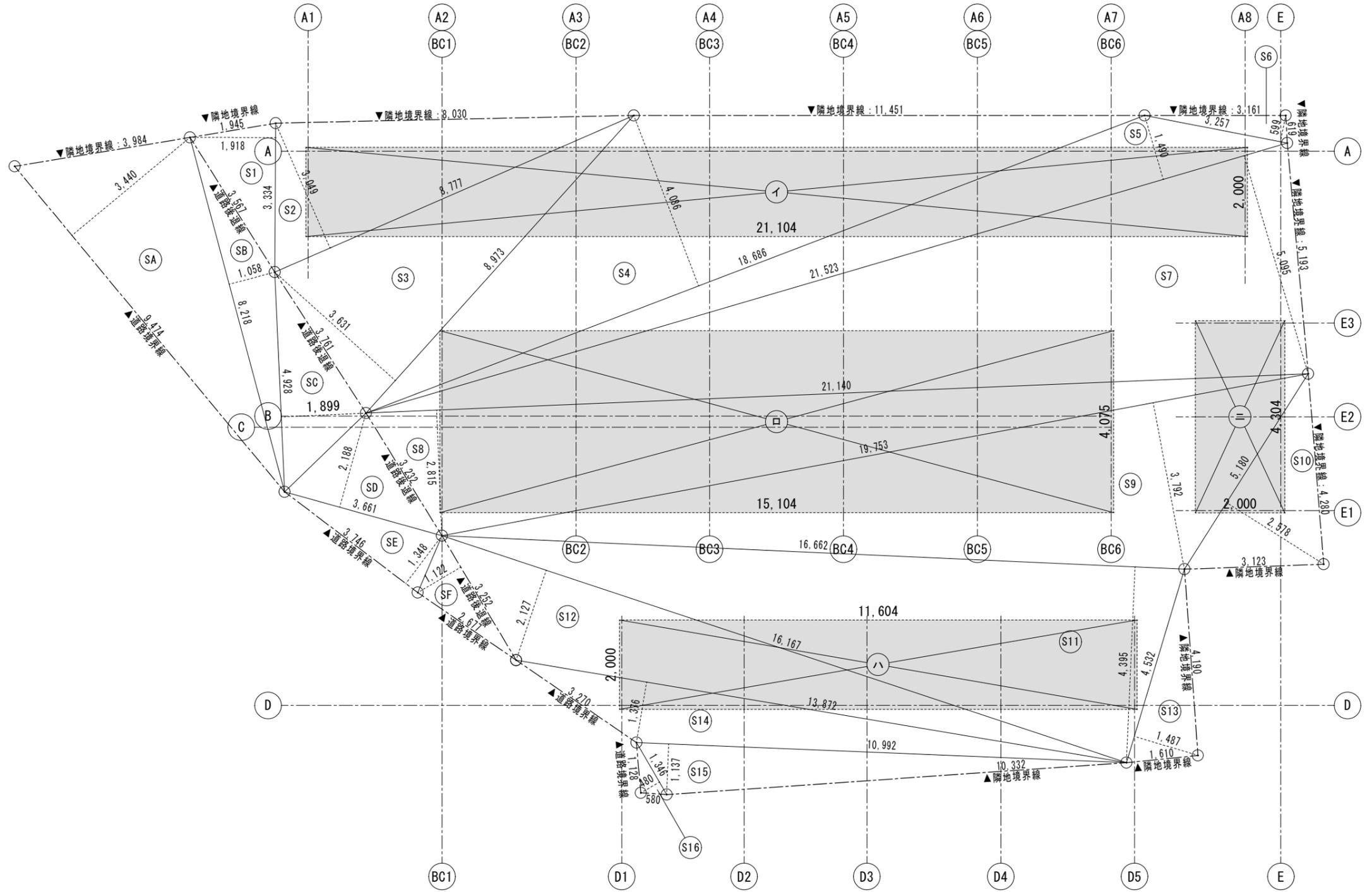
市道御幸7号線
 42条1項1号、42条2項



備考	令和 3 年 6 月 15 日	SCALE : 1/100	工事名称	図面名称
		亀山市産業建設部 都市整備課	亀山駅東自転車駐車場新築工事	現況図
		亀山駅前整備G		



備考	令和 3 年 6 月 15 日	SCALE : 1/100	工事名称	図面名称
		亀山市産業建設部 都市整備課 亀山駅前整備G	亀山駅東自転車駐輪場新築工事	配置図兼平面図



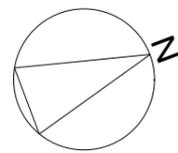
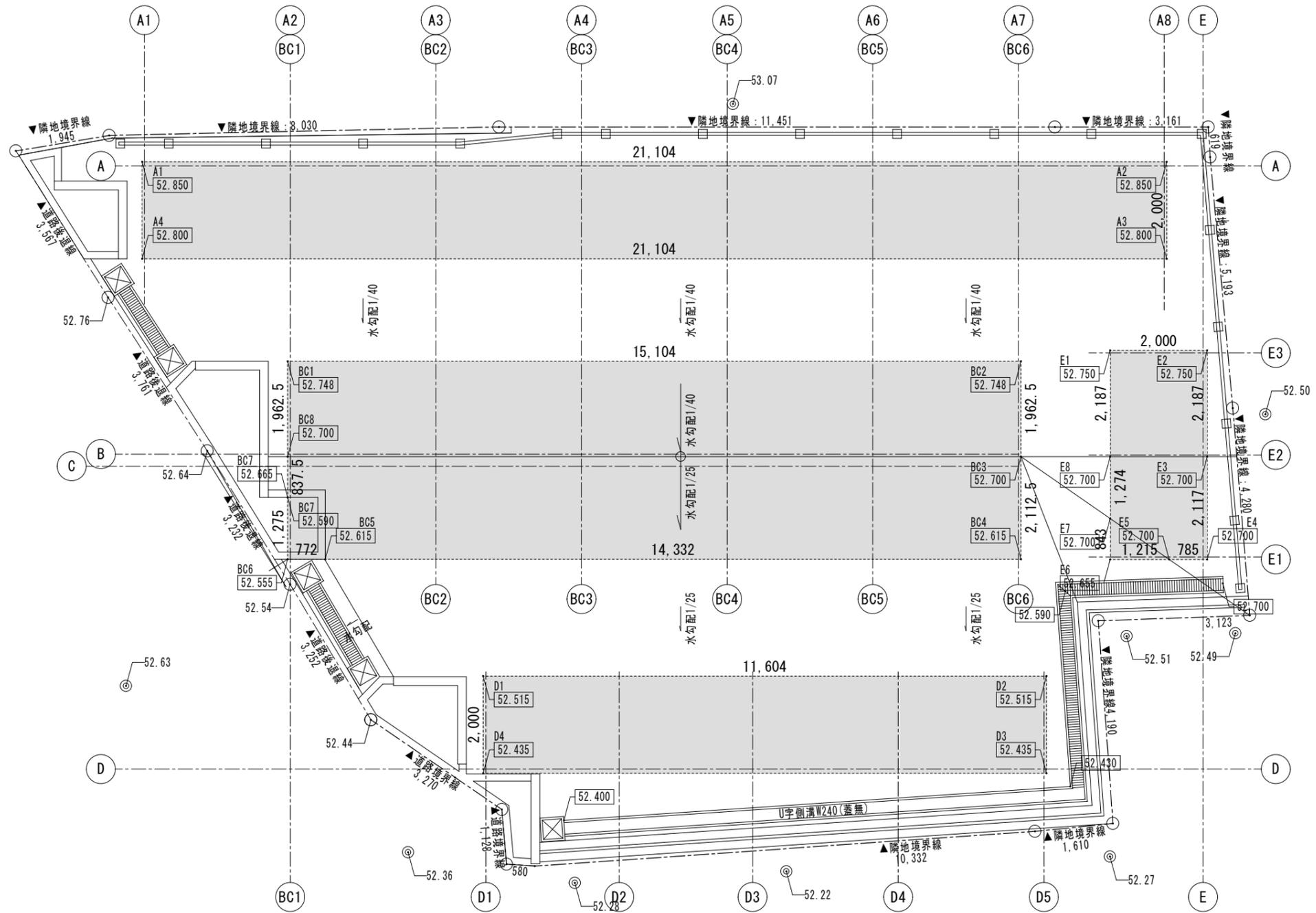
敷地求積表(道路後退部分除く)

敷地求積表(道路後退部分)

建築面積・延床面積求積表

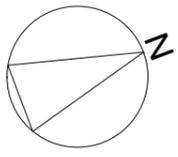
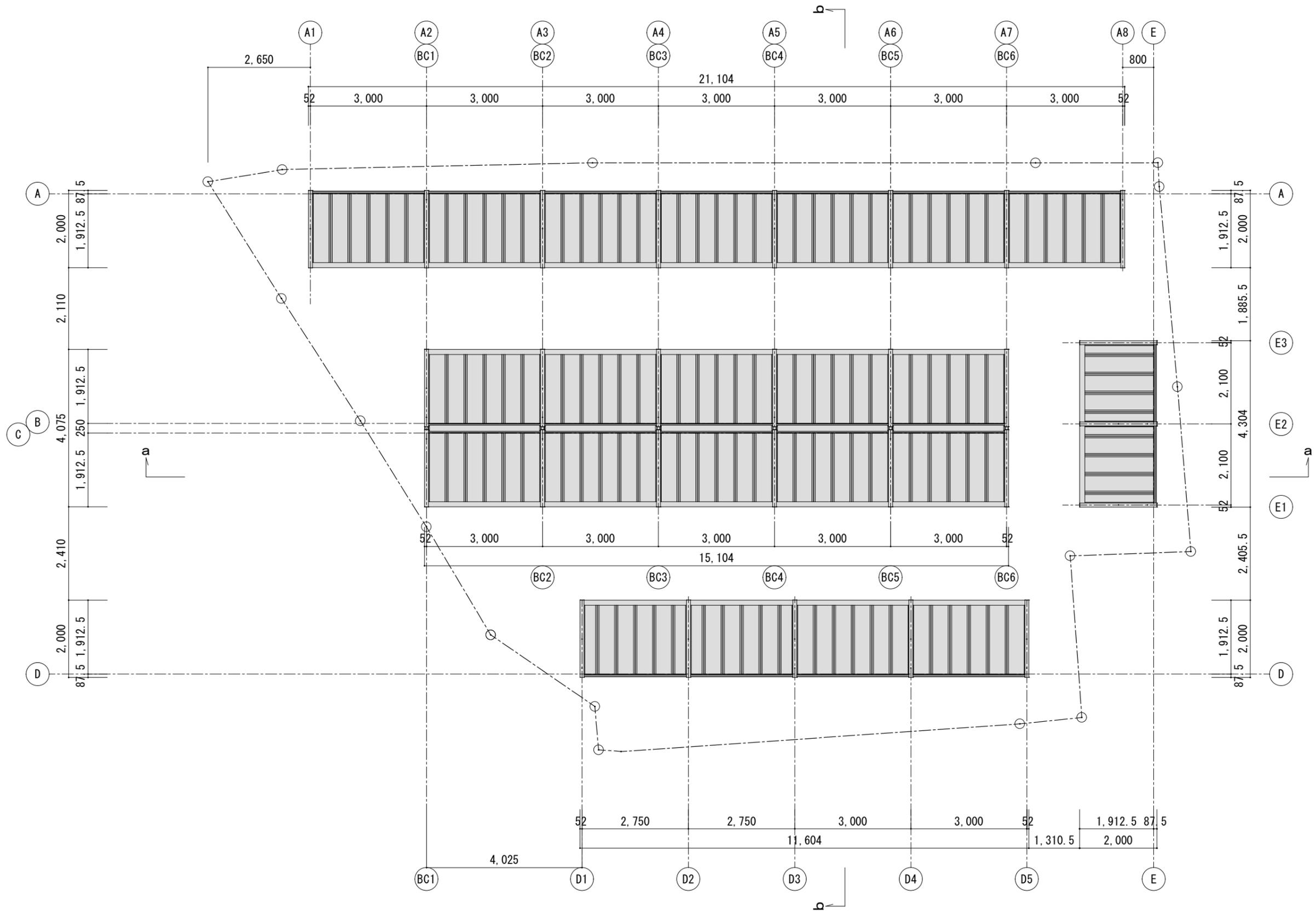
記号	計 算 式	倍 面 積	記号	計 算 式	倍 面 積	記号	計 算 式	倍 面 積	記号	計 算 式	面 積
(S1)	3.334 × 1.918	6.394612	(S11)	16.662 × 4.395	73.229490	(SA)	9.474 × 3.440	32.590560	(イ)	21.104 × 2.000	42.208000
(S2)	8.777 × 3.049	26.761073	(S12)	16.167 × 2.127	34.387209	(SB)	8.218 × 1.058	8.694644	(ロ)	15.104 × 4.075	61.548800
(S3)	8.973 × 3.631	32.580963	(S13)	4.532 × 1.487	6.739084	(SC)	4.928 × 1.899	9.358272	(ハ)	11.604 × 2.000	23.208000
(S4)	18.686 × 4.086	76.350996	(S14)	13.872 × 1.376	19.087872	(SD)	3.661 × 2.188	8.010268	(ニ)	4.304 × 2.000	8.608000
(S5)	21.523 × 1.490	32.069270	(S15)	10.992 × 1.137	12.497904	(SE)	3.746 × 1.348	5.049608			
(S6)	3.257 × 0.599	1.950943	(S16)	1.346 × 0.480	0.646080	(SF)	3.252 × 1.122	3.648744		建築面積・延床面積	135.54
(S7)	21.523 × 5.095	109.659685					倍面積合計	67.352096			
(S8)	21.140 × 2.815	59.509100					倍面積 / 2...ii	33.676048			
(S9)	19.753 × 3.792	74.903376		倍面積合計	580.121697		敷地面積(i+ii)	323.73			
(S10)	5.180 × 2.578	13.354040		倍面積 / 2...i	290.065649						

備考	令和 3 年 6 月 15 日	SCALE : 1/100	工事名称	図面名称
		亀山市産業建設部	亀山駅東自転車駐車場新築工事	求積図・求積表
		都市整備課		
		亀山駅前整備G		

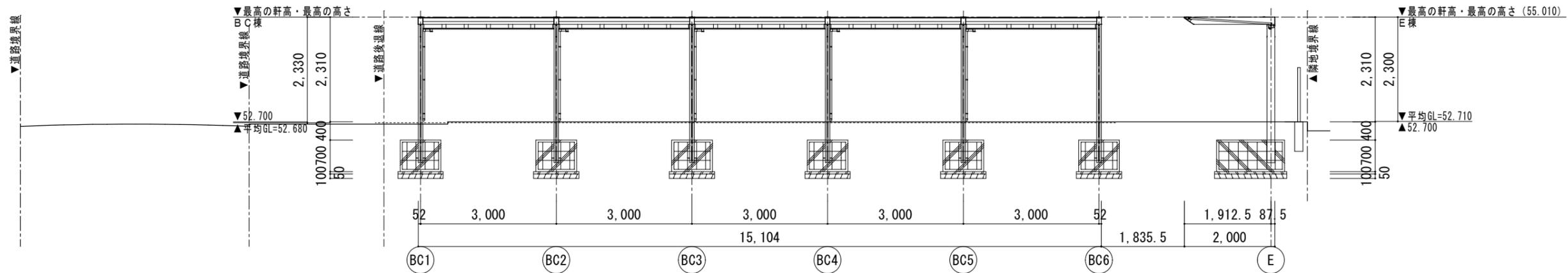


自転車駐輪場 A			自転車駐輪場 B C			自転車駐輪場 D			自転車駐輪場 E		
記号	計 算 式	面 積	記号	計 算 式	倍 面 積	記号	計 算 式	倍 面 積	記号	計 算 式	面 積
(A1) - (A2)	$(0.850 + 0.850) / 2 \times 21.104$	17.938400	(BC1) - (BC2)	$(0.748 + 0.748) / 2 \times 15.104$	11.297792	(D1) - (D2)	$(0.515 + 0.515) / 2 \times 11.604$	5.976060	(E1) - (E2)	$500 (0.750 + 0.750) / 2 \times 2.000$	1.500000
(A2) - (A3)	$(0.850 + 0.800) / 2 \times 2.000$	1.650000	(BC2) - (BC3)	$(0.748 + 0.700) / 2 \times 1.9625$	1.420850	(D2) - (D3)	$(0.515 + 0.435) / 2 \times 2.000$	0.950000	(E2) - (E3)	$450 (0.750 + 0.700) / 2 \times 2.187$	1.585575
(A3) - (A4)	$(0.800 + 0.800) / 2 \times 21.104$	16.883200	(BC3) - (BC4)	$(0.700 + 0.615) / 2 \times 2.1125$	1.388969	(D3) - (D4)	$(0.435 + 0.435) / 2 \times 11.604$	5.047740	(E3) - (E4)	$400 (0.700 + 0.700) / 2 \times 2.117$	1.481900
(A4) - (A1)	$(0.800 + 0.850) / 2 \times 2.000$	1.650000	(BC4) - (BC5)	$(0.615 + 0.615) / 2 \times 14.332$	8.814180	(D4) - (D1)	$(0.435 + 0.515) / 2 \times 2.000$	0.950000	(E4) - (E5)	$400 (0.700 + 0.700) / 2 \times 0.785$	0.549500
小計	46.208	38.121600	(BC5) - (BC6)	$(0.615 + 0.555) / 2 \times 0.772$	0.451620	小計	27.208	12.923800	(E5) - (E6)	$355 (0.700 + 0.655) / 2 \times 1.215$	0.823770
	$38.121600 / 46.208 = 0.825m \rightarrow 0.825m$ とする。		(BC6) - (BC7)	$(0.555 + 0.590) / 2 \times 1.275$	0.729937		$12.923800 / 27.208 = 0.4750m \rightarrow 0.475m$ とする。		(E6) - (E7)	$355 (0.655 + 0.700) / 2 \times 0.843$	0.571554
	\therefore 平均 G L = 52.000m + 0.825m = 52.825m とする。		(BC7) - (BC8)	$(0.665 + 0.700) / 2 \times 0.8375$	0.571594		\therefore 平均 G L = 52.000m + 0.475m = 52.475m とする。		(E7) - (E8)	$400 (0.700 + 0.700) / 2 \times 1.274$	0.891800
			(BC8) - (BC1)	$(0.700 + 0.748) / 2 \times 1.9625$	1.420850				(E8) - (E1)	$450 (0.700 + 0.750) / 2 \times 2.187$	1.585575
			小計	38.358	26.095792				小計	12.608	8.989674
				$26.095792 / 38.358 = 0.680322m \rightarrow 0.680m$ とする。						$8.989674 / 12.608 = 0.713013m \rightarrow 0.710m$ とする。	
				\therefore 平均 G L = 52.000m + 0.680m = 52.680m とする。						\therefore 平均 G L = 52.000m + 0.710m = 52.710m とする。	

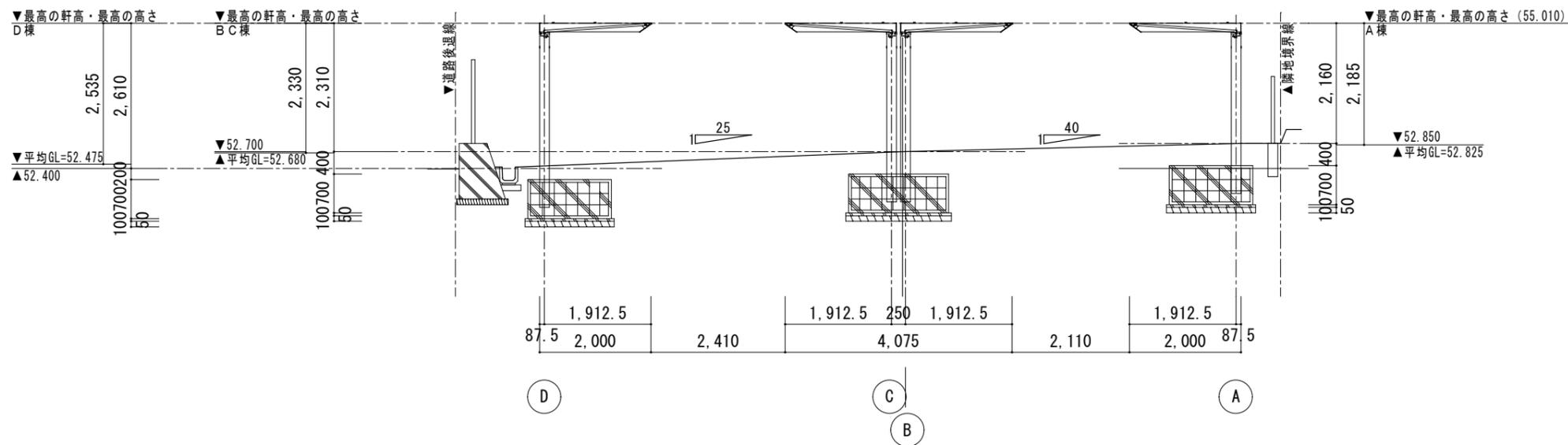
備考	令和 3 年 6 月 15 日	SCALE : 1/100	工事名称	図面名称
		亀山市産業建設部	亀山駅東自転車駐輪場新築工事	平均地盤面算定図
		都市整備課		
		亀山駅前整備 G		



備考	令和 3 年 6 月 15 日	SCALE : 1/100	工事名称	図面名称
		亀山市産業建設部	亀山駅東自転車駐車場新築工事	屋根伏図
		都市整備課		
		亀山駅前整備 G		

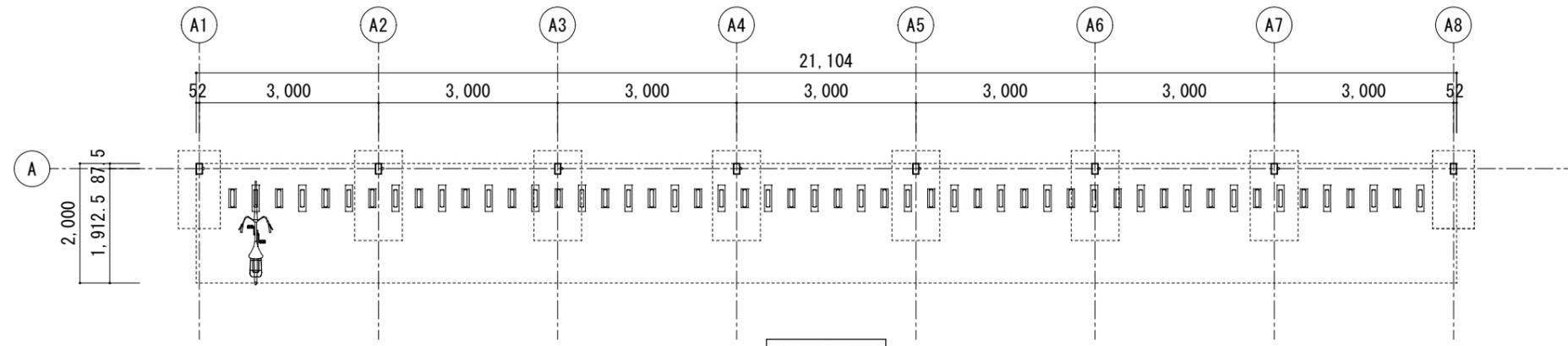


a - a 断面図

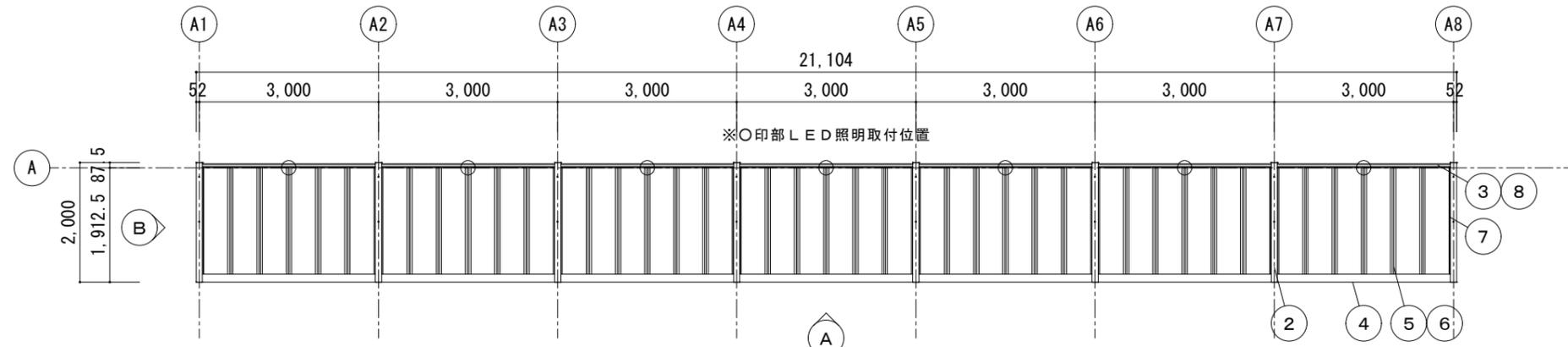


b - b 断面図

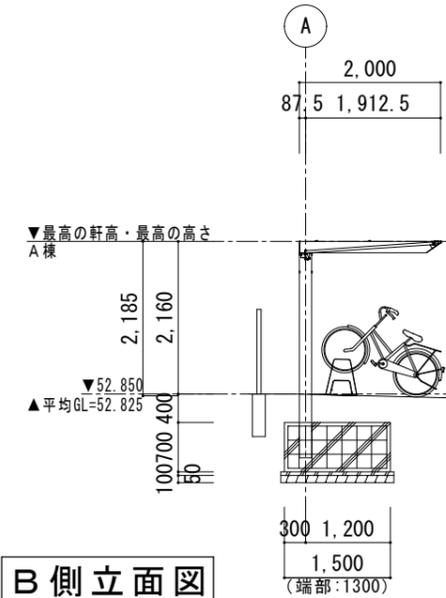
備考	令和 3 年 6 月 15 日	SCALE : 1/100	工事名称	図面名称
		亀山市産業建設部	亀山駅東自転車駐車場新築工事	断面図
		都市整備課		
		亀山駅前整備G		



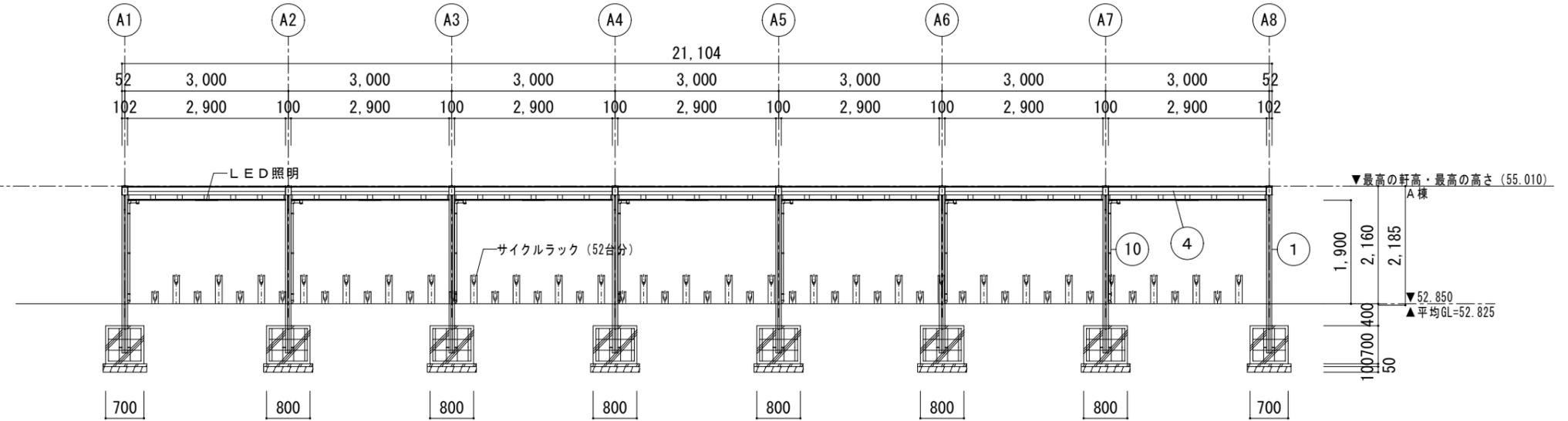
柱伏図



屋根伏図

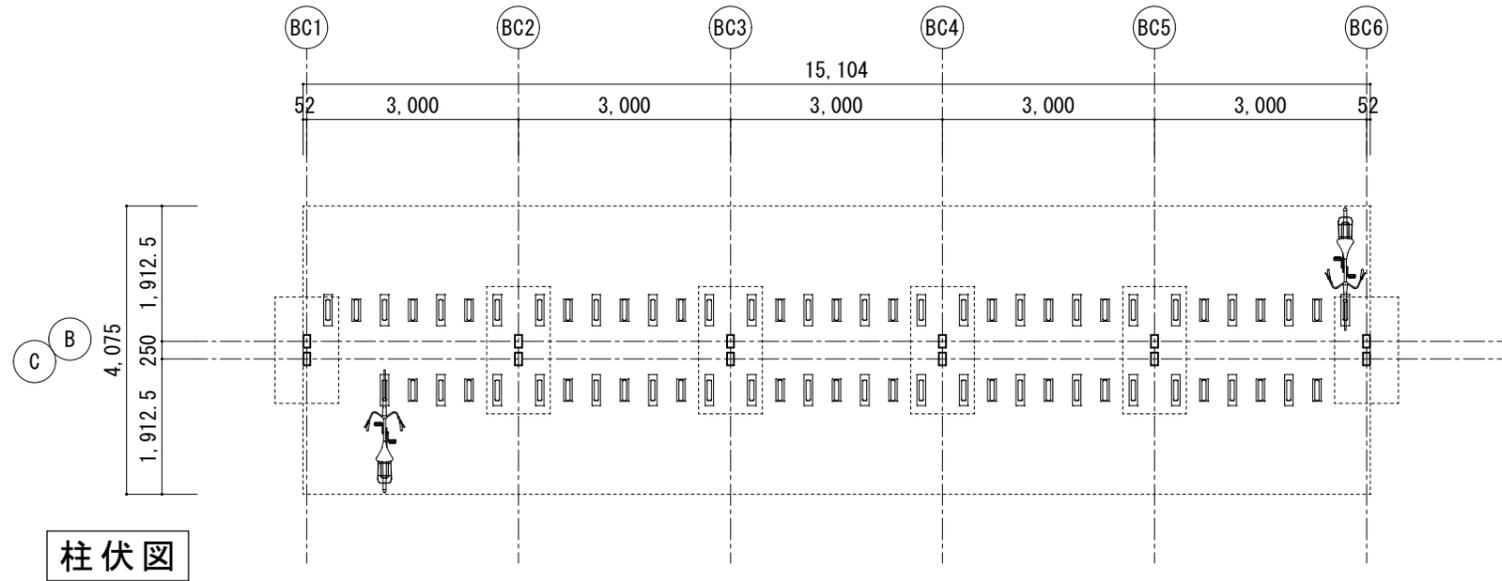


B側立面図

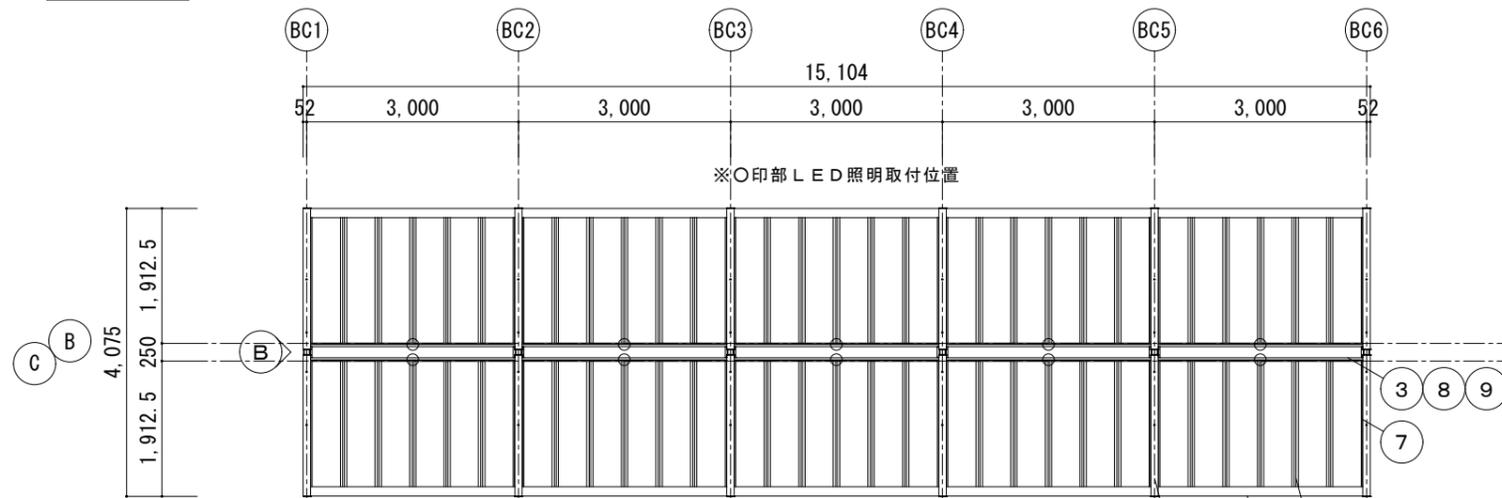


A側立面図

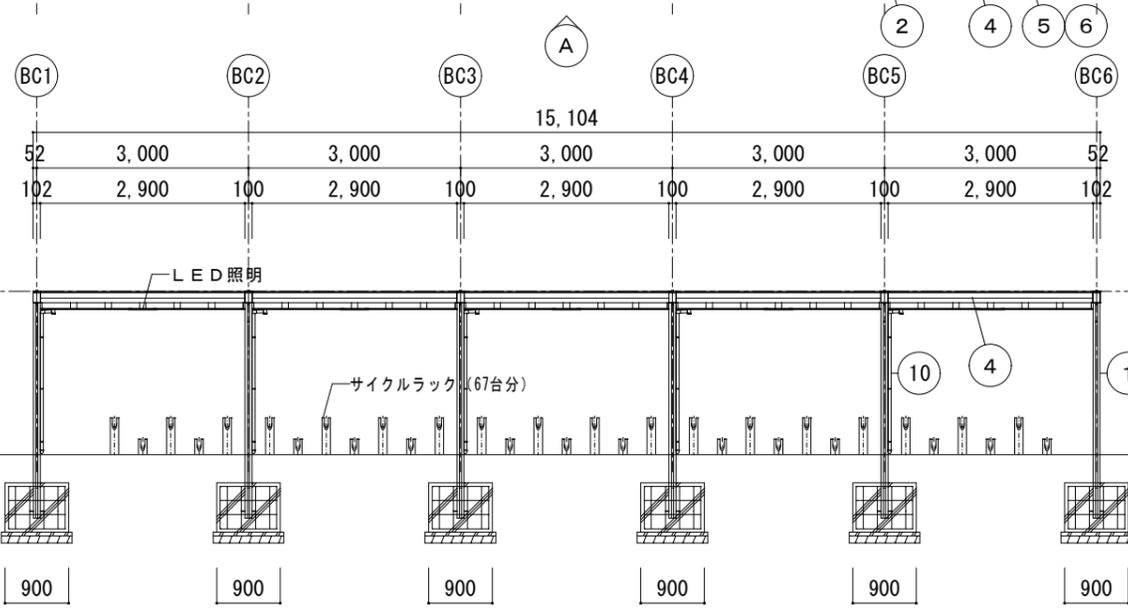
備考 共通：基礎配筋：D13@200かご状 サイクルポート：四国化成 LIFT 1500N/m ² 延高 LED照明(人感無)仕様 同等品 基礎サイズ：端部 W700H1300D700 サイクルラック：四国化成 S8型同等品 中間部 W800H1500D700	令和 3 年 6 月 15 日	SCALE : 1/100	工事名称	図面名称
		亀山市産業建設部	亀山駅東自転車駐車場新築工事	サイクルポート (A棟) 一般図
		都市整備課 亀山駅前整備G		



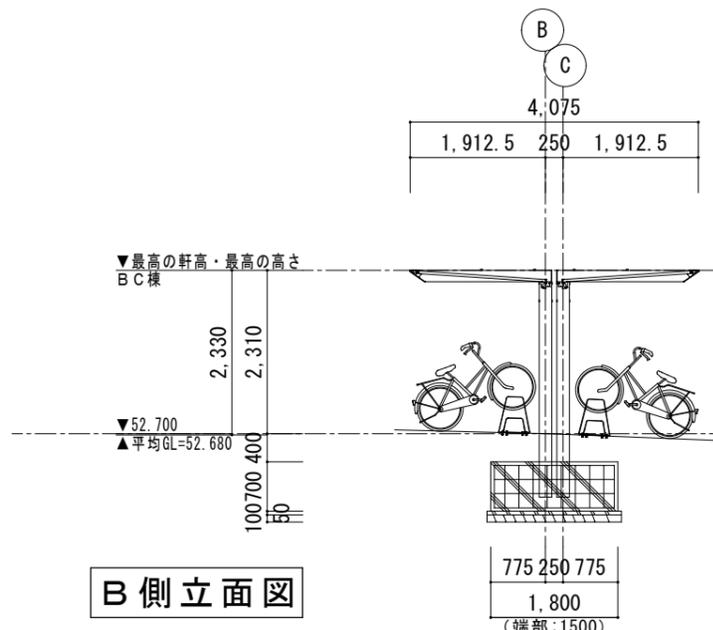
柱伏図



屋根伏図

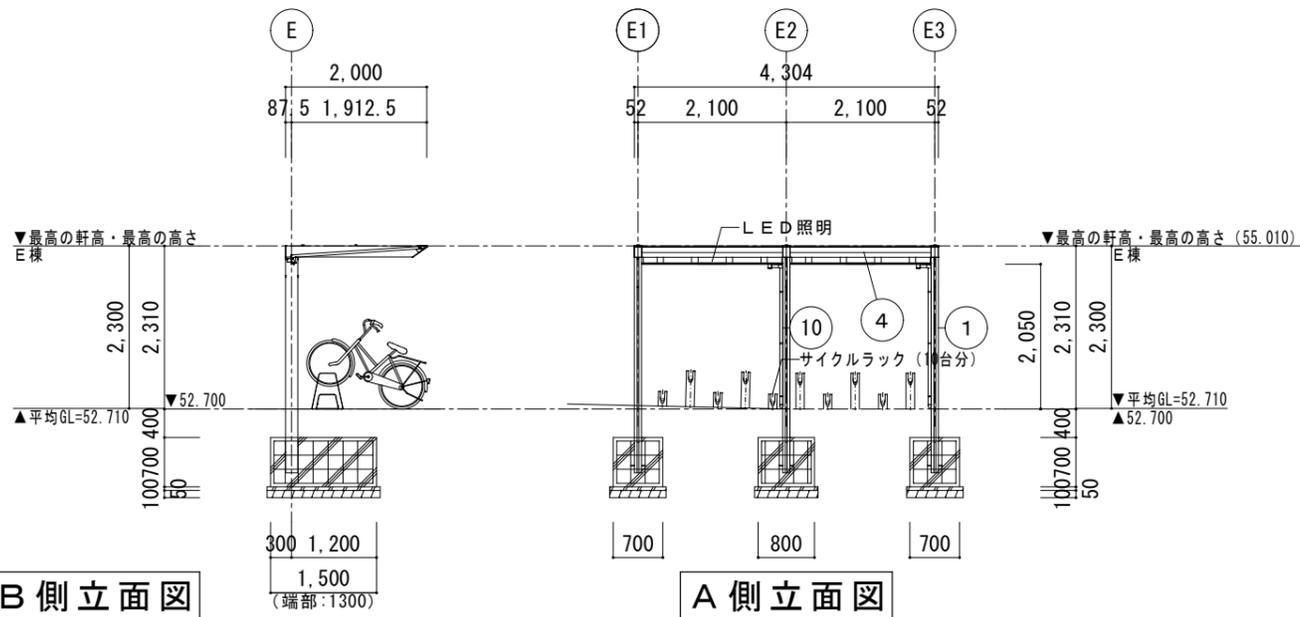
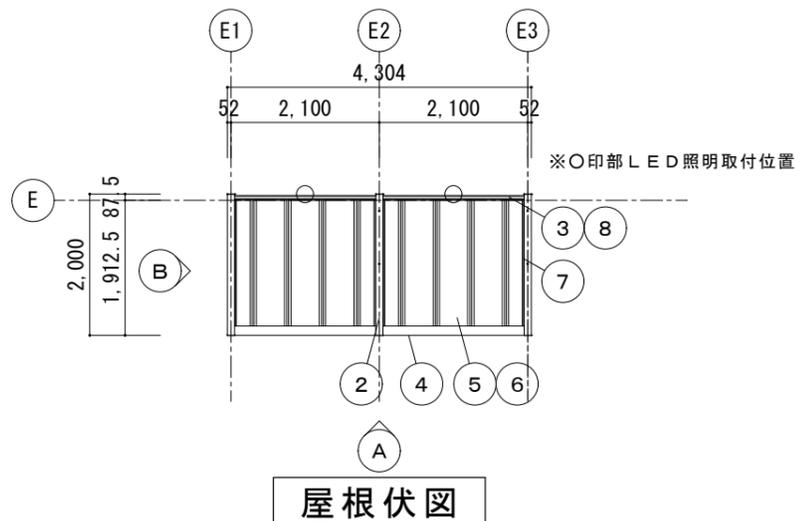
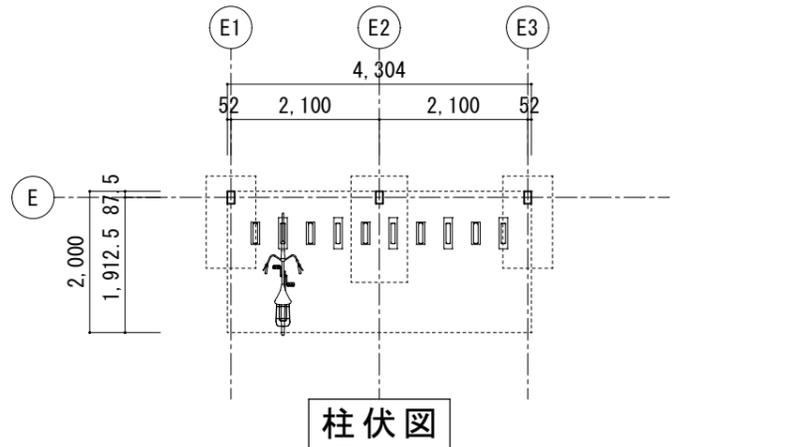


A側立面図



B側立面図

備考 共通：基礎配筋：D13@200かご状 基礎サイズ：端部 W900H1500D700 中間部 W900H1800D700	サイクルポート：四国化成 LIFT 1500N/m ² 延高 LED照明(人感無)仕様 同等品 サイクルラック：四国化成 S8型同等品	令和 3 年 6 月 15 日	SCALE : 1/100	工事名称 亀山駅東自転車駐車場新築工事	図面名称 サイクルポート (BC棟) 一般図
			亀山市産業建設部 都市整備課 亀山駅前整備G		



仕上表

ビス類	ステンレス鋼線材	
屋根材	片面クリアマット (1.8t) ポリカーボネート板	
キャップ類	ASA	
⑩ 縦樋	アルミ押出形材	陽極酸化・塗装複合被膜
⑨ Y横樋カバー	アルミ押出形材	陽極酸化・塗装複合被膜
⑧ 中間梁カバー	アルミ押出形材	陽極酸化・塗装複合被膜
⑦ 端部屋根取付材	アルミ押出形材	陽極酸化・塗装複合被膜
⑥ 屋根押え	アルミ押出形材	陽極酸化・塗装複合被膜
⑤ 中間梁	アルミ押出形材	陽極酸化・塗装複合被膜
④ 正面水切	アルミ押出形材	陽極酸化・塗装複合被膜
③ 桁	桁カバー	アルミ押出形材
	桁	陽極酸化・塗装複合被膜
② S梁	梁カバー	アルミ押出形材
	S梁	陽極酸化・塗装複合被膜
① S支柱	アルミ押出形材	陽極酸化・塗装複合被膜

主要部材断面図 1/10

① S支柱	② S梁	③ 桁	④ 正面水切
⑤ 中間梁	⑥ 屋根押え	⑦ 端部屋根取付材	⑧ 中間梁カバー
⑨ Y横樋カバー	⑩ 縦樋		

備考
 共通：基礎配筋：D13@200かご状 サイクルポート：四国化成 LIFT 1500N/m² 延高 LED照明(人感無)仕様 同等品
 基礎サイズ：端部 W700H1300D700 サイクルラック：四国化成 S8型同等品
 中間部 W800H1500D700

令和 3 年 6 月 15 日

SCALE : 1/10・1/100

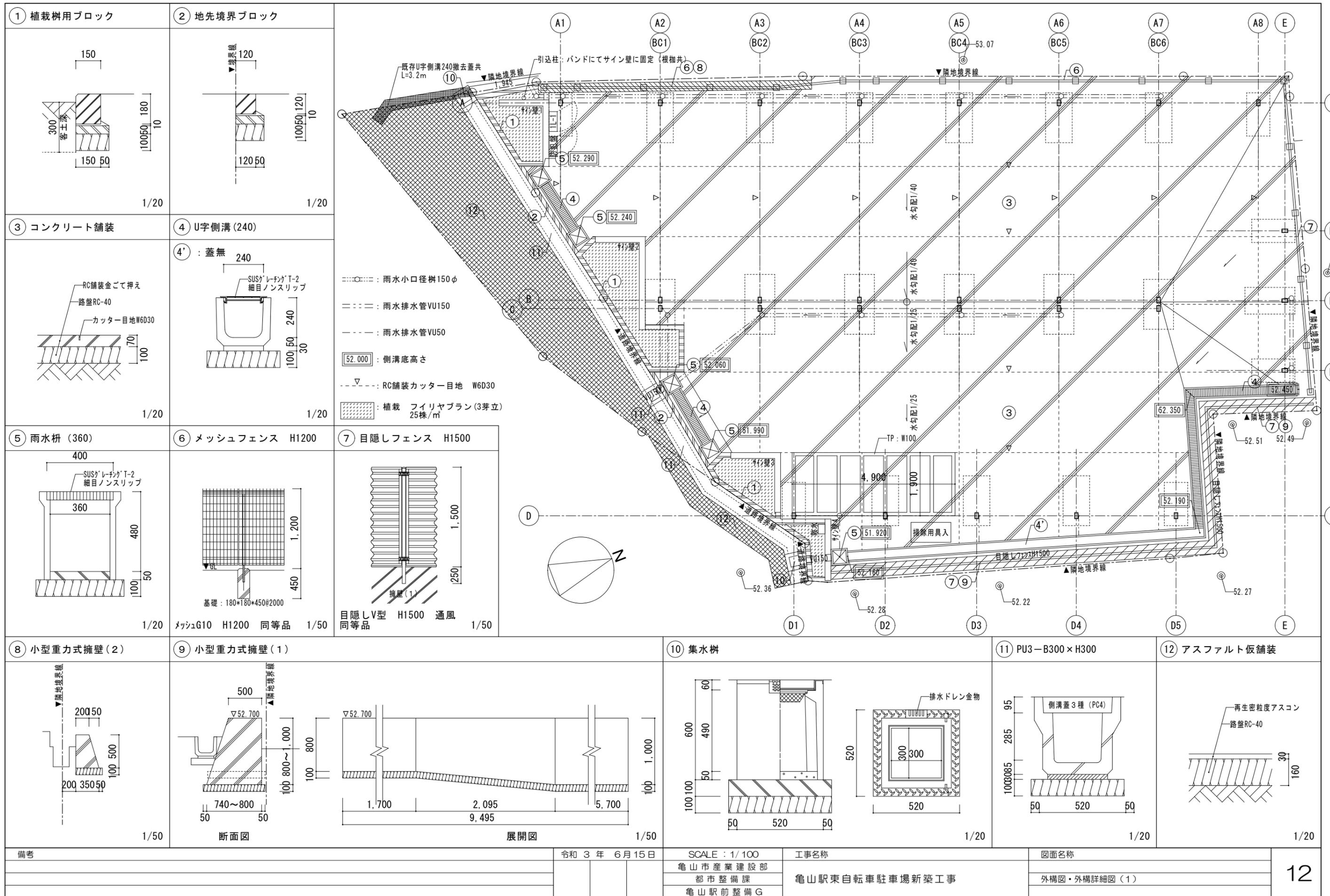
工事名称

図面名称

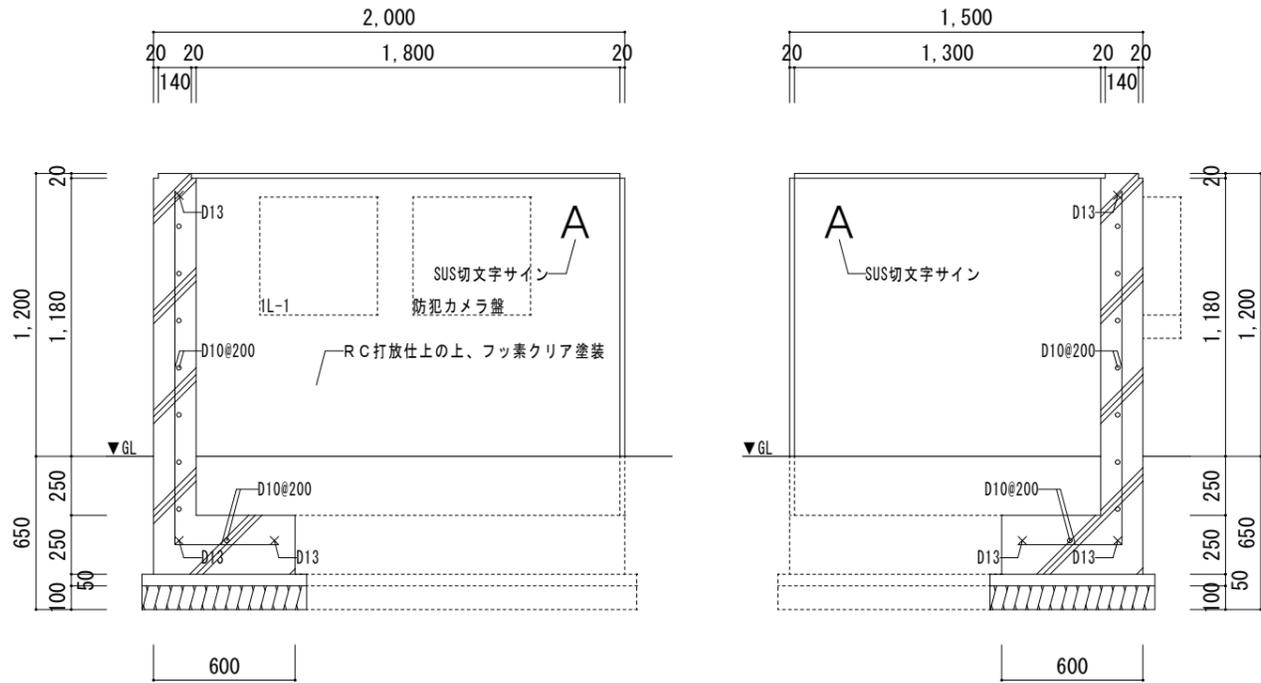
亀山市産業建設部
 都市整備課
 亀山駅前整備G

亀山駅東自転車駐車場新築工事

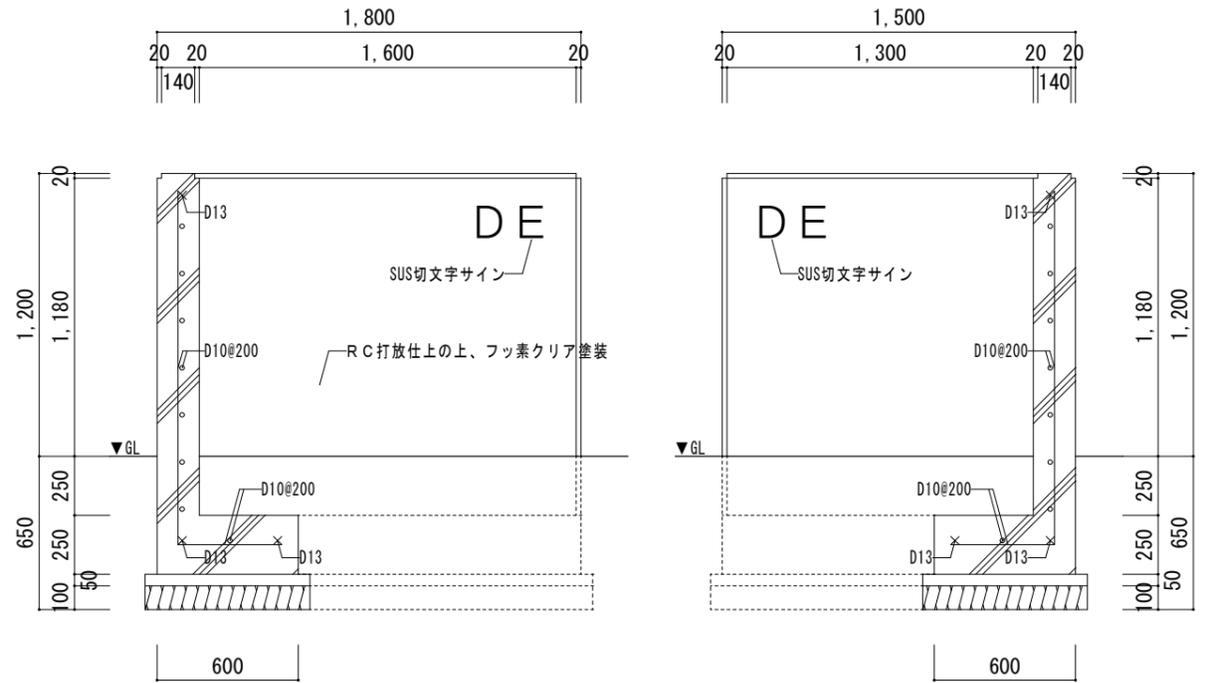
サイクルポート (E棟) 一般図
 部材一覧表・部材断面図



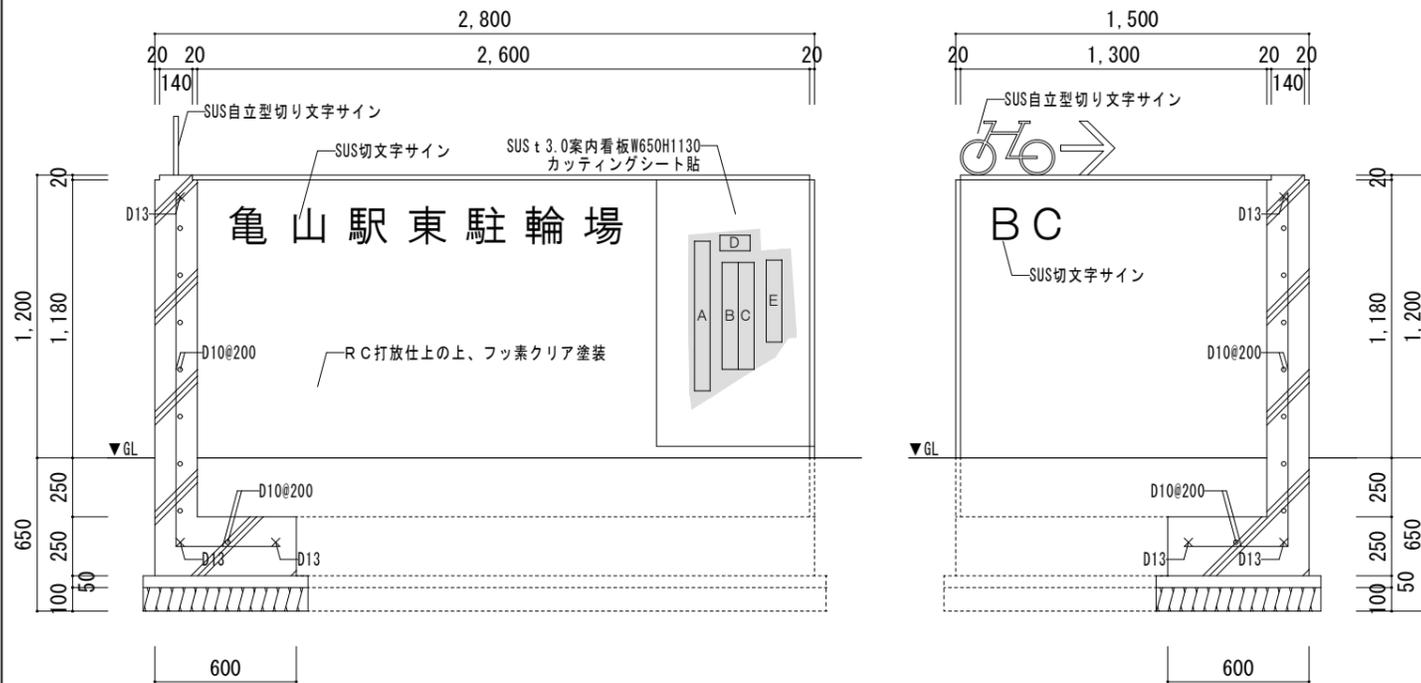
サイン壁 1



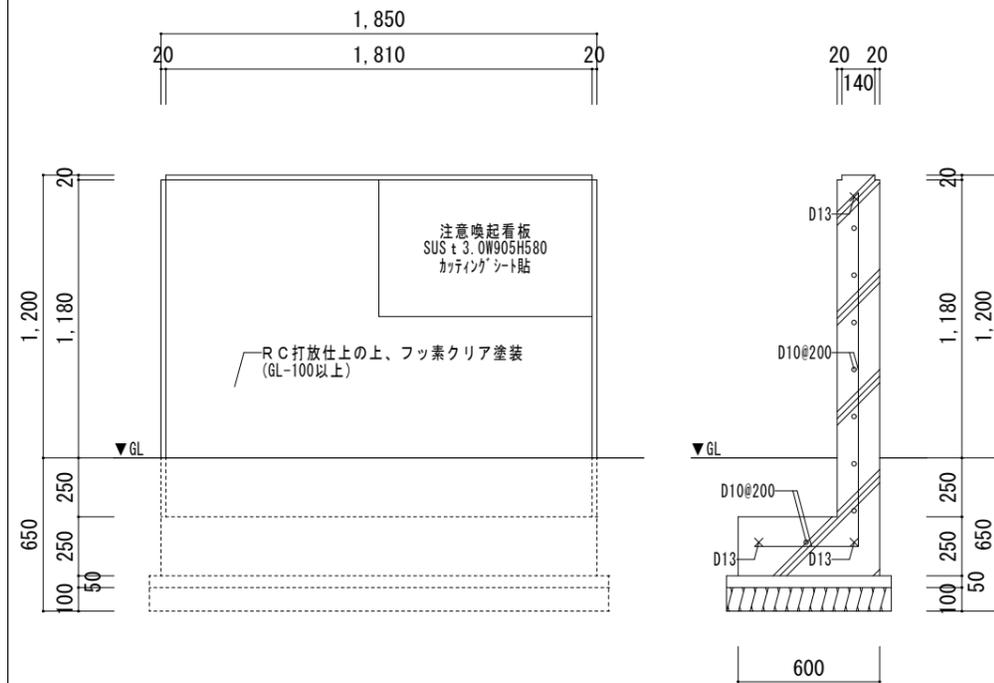
サイン壁 3



サイン壁 2



サイン壁 4



サイン仕様

1. SUS自立型切り文字サイン
H200程度
自転車マーク : 1ヶ所
原付マーク : 1ヶ所
2. SUS切り文字サイン
亀山東駐輪場 : 1ヶ所
アルファベット : 10枚
フロントサイズ
W180H180
3. SUS案内看板
カットイングシート貼 : 1ヶ所
4. SUS免責・注意喚起看板
カットイングシート貼 : 1ヶ所

備考

令和 3 年 6 月 15 日

SCALE : 1/100

工事名称

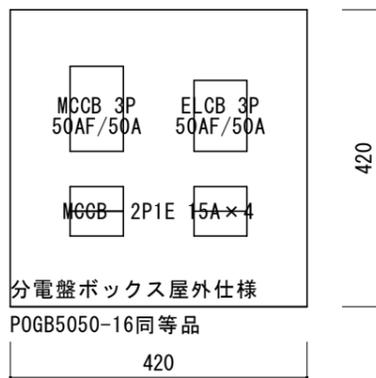
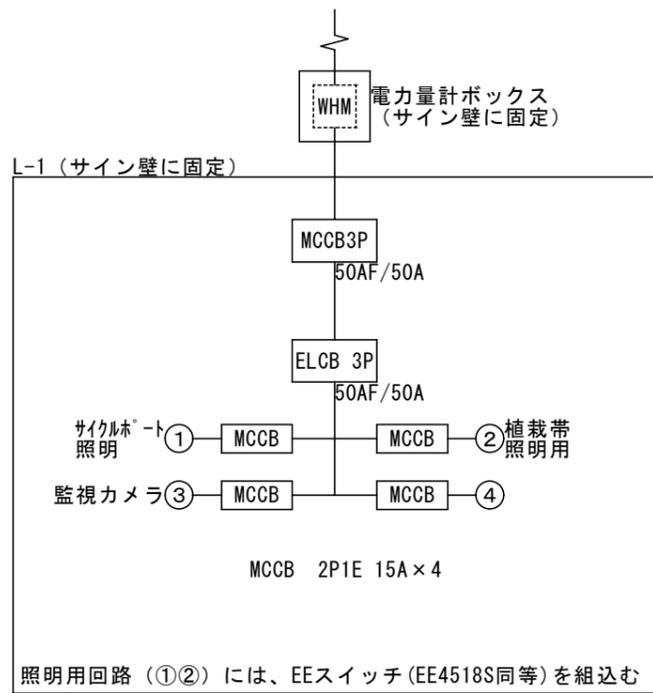
図面名称

亀山市産業建設部
都市整備課
亀山駅前整備G

亀山駅東自転車駐輪場新築工事

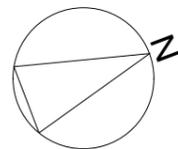
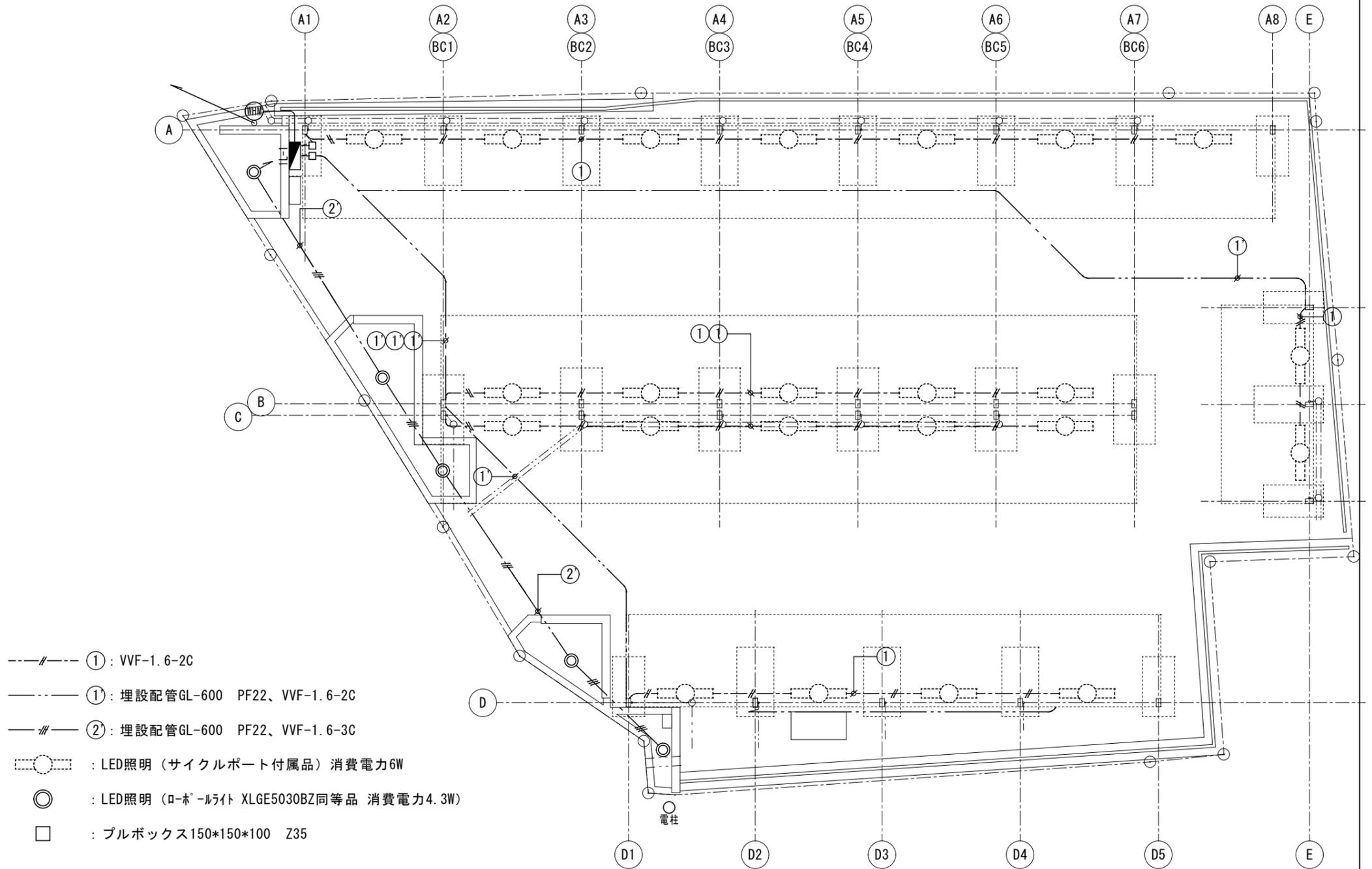
外構詳細図(2)

1 L-1 分電盤



L-1参考配置図

配線については内線規程に基づき施工すること。



備考	令和 3 年 6 月 15 日	SCALE : 1/100	工事名称	図面名称
		亀山市産業建設部 都市整備課 亀山駅前整備G	亀山駅東自転車駐車場新築工事	照明器具平面図

防犯カメラシステム 仕様

・概要
 ネットワークSDカードレコーダーと防犯カメラをネットワークにて接続する。
 配線は、盤よりサイクルポート柱まで埋設配管にて配線し、サイクルポート電灯配線と共に立ち上げ、梁材に取り付けたカメラと接続する。

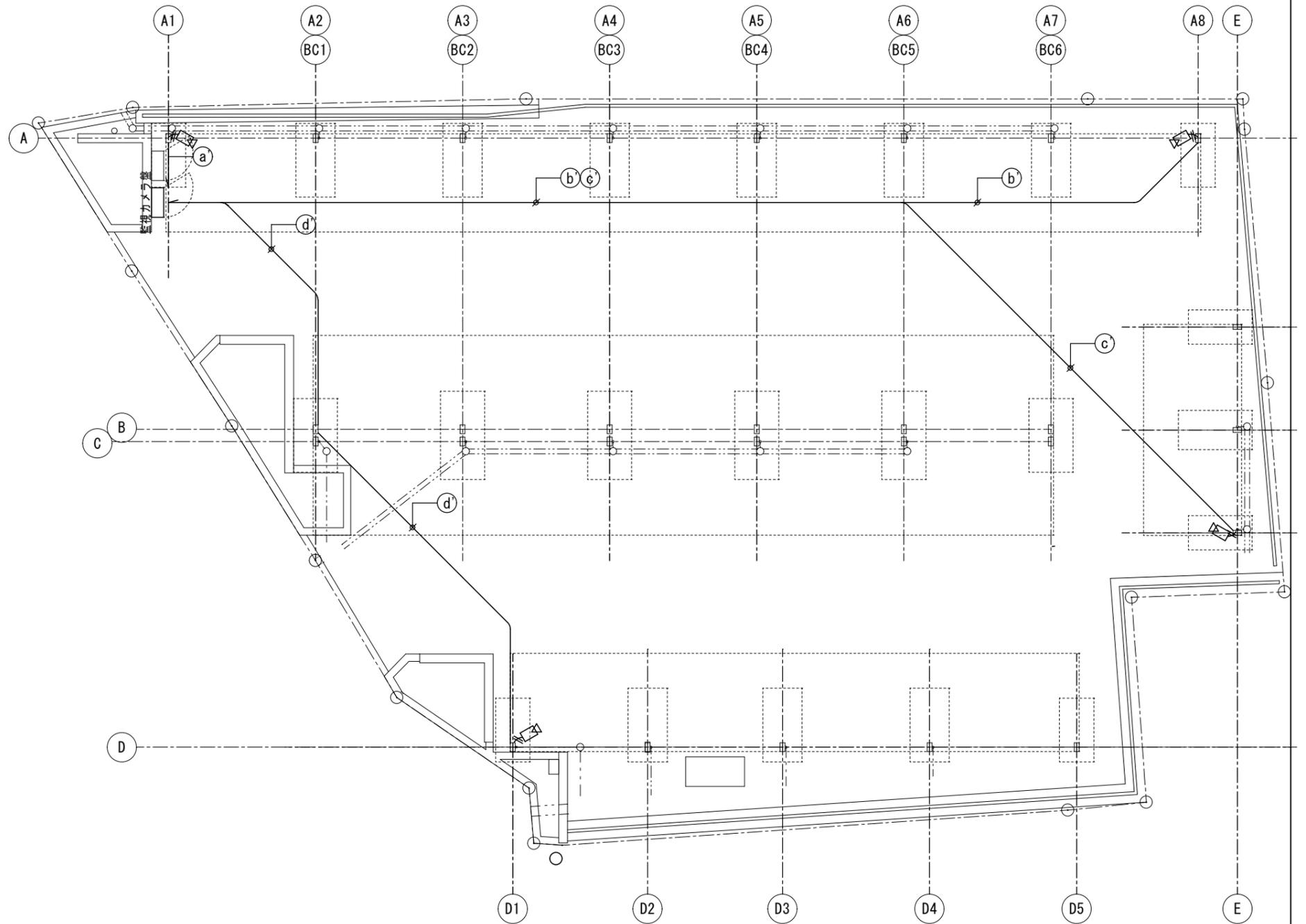
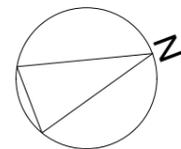
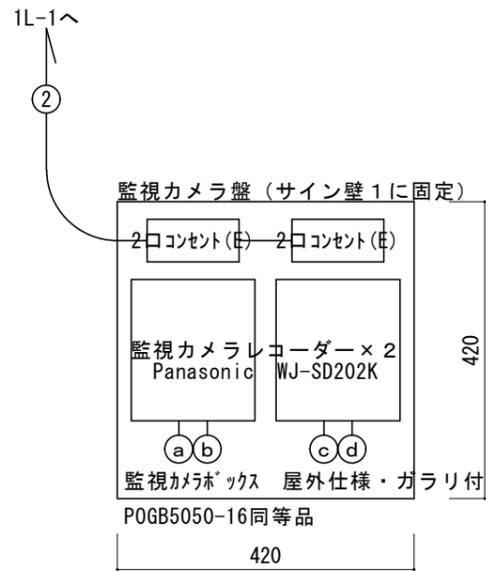
・ネットワークSDカードレコーダー（WJ-SD202K同等品） 2台
 電源：AC100V
 記録媒体：SDカード スロット数2
 ネットワークポート：
 カメラポート1：PoE+、カメラポート2：PoE、PCポート：RJ45
 メンテナンスポート：USB2.0
 GPSアンテナ付

・ネットワークカメラ 4台
 PoE給電 1/2.8型 2M CMOS
 屋外ハウジング一体型バレットタイプ
 IPD-BL210同等品

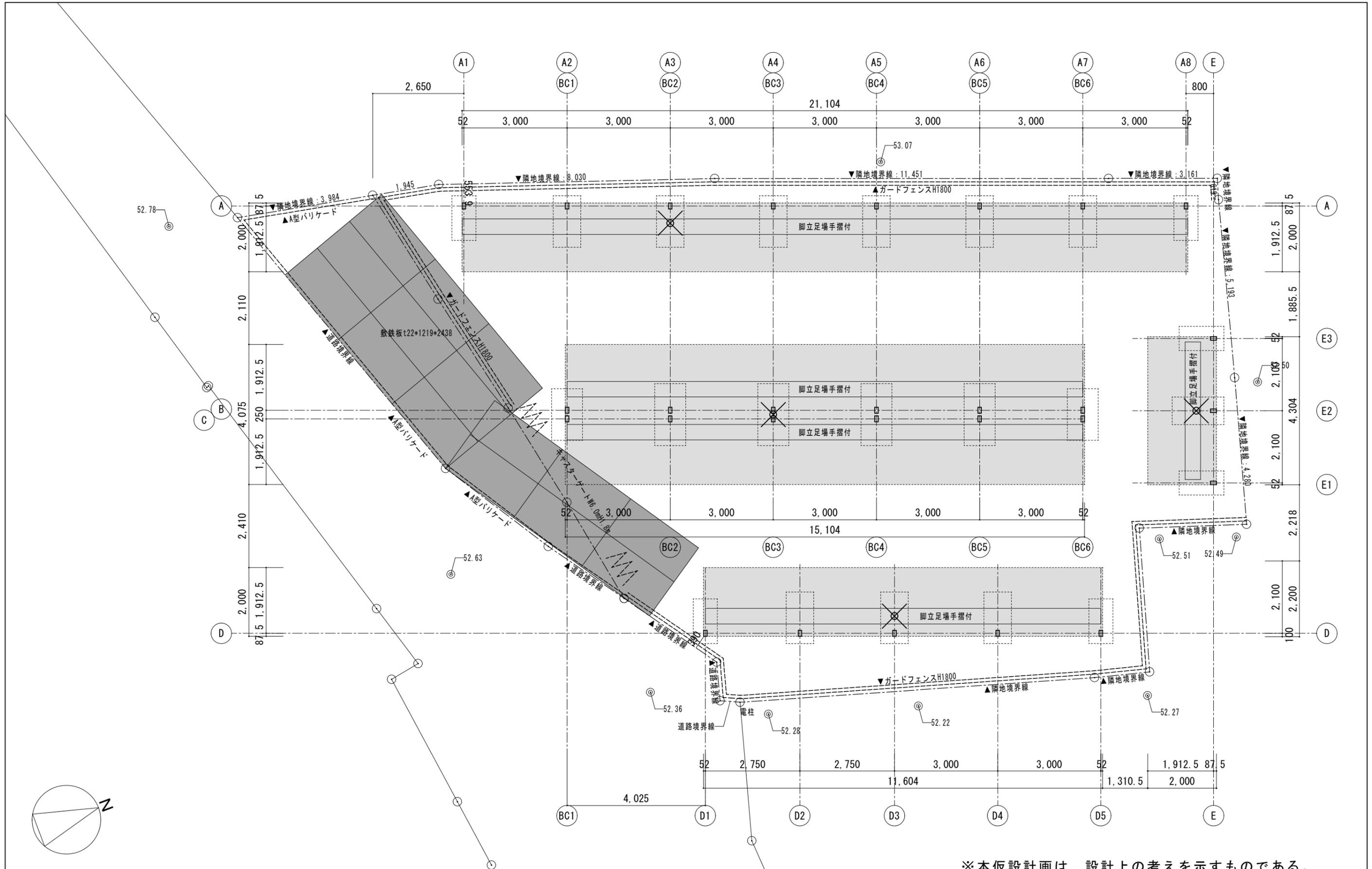
凡例

- (a)(b)(c)(d) : UTPケーブル CAT6 4P
- (a)(b)(d)(c) : 埋設配管GL-600 PF22、UTPケーブル CAT6 4P
-  : ネットワークカメラ

監視カメラ盤



備考	令和 3 年 6 月 15 日	SCALE : 1/ 100	工事名称	図面名称
		亀山市産業建設部 都市整備課 亀山駅前整備G	亀山駅東自転車駐車場新築工事	防犯カメラ平面図



※本仮設計画は、設計上の考えを示すものである。

備考 X : スウェーデン式サイディング試験 (H=3m) 4ヶ所	令和 3 年 6 月 15 日	SCALE : 1/100 亀山市産業建設部 都市整備課 亀山駅前整備G	工事名称 亀山駅東自転車駐車場新築工事	図面名称 仮設計画図
--------------------------------------	-----------------	---	------------------------	---------------